SHARP®

メモリーオーディオシステム

形名 QT-MPA5（キューティー エム ピー エー）
QT-MPA10

取扱説明書

はじめに、次のことを確認してください。

- お使いのパソコンはWindows® XP または 2000 ですか？
  - はい ⇒ OK です
  - いいえ ⇒ **4 ページ**をチェック
- Windows Media® Player 10 または 9 がインストールされていますか？
  - はい ⇒ OK です
  - いいえ ⇒ **4 ページ**をチェック

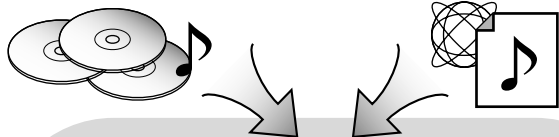
お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、**「安全に正しくお使いいただくために」**を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

MP3

本体全基板に無鉛はんだを採用しました

音楽ファイルを聞くまでの流れ

CDの曲を…

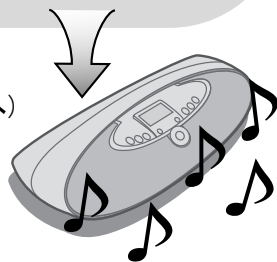
音楽配信サイトで購入した曲を…

1 **MP3やWMA、WAV音楽ファイルとしてパソコンに録音**
（☞P.18～20へ）
Windows Media® Player 10または9を使用

Windows Media® Player 10

Windows Media® Player 9

2 **MP3やWMA、WAV音楽ファイルを本機に転送**
（☞P.21～23へ）

3 **電源の準備**
（☞P.13～15へ）

4 **本機で曲を再生**
（☞P.24へ）

もくじ

QT-MPA5
QT-MPA10

ページ

はじめに

本体の準備

パソコンの準備

本機で音楽ファイルを聞く

動作環境について

使えるパソコンの動作環境

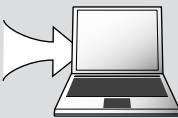
対応機種　：IBM PC/AT 互換機
OS　　　　：Microsoft® Windows® XP Home Edition
　　　　　　Microsoft® Windows® XP Professional
　　　　　　Microsoft® Windows® 2000 Professional
その他　　：USB インターフェース、CD-ROM ドライブ

Windows Media® Player のインストール

パソコンにWindows Media® Player 10または9がインストールされていないときは、マイクロソフトの Windows Media® のホームページから、ダウンロードしてください。

http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

Windows Media® Player 10

Windows Media® Player 9

登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows Media® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

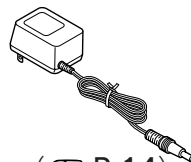
ご注意

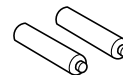
- Windows Media® Player 10 または 9 がインストールされていないと、本機にMP3 やWMA、WAV 音楽ファイルを転送することができません。
  パソコンから直接コピーすると、本機で再生できない場合があります。
- 本機は、Windows Media® DRM 10 方式には対応していません。（くわしくは、51 ページの「デジタル著作権管理（DRM）について」をごらんください。）

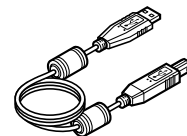
付属品について

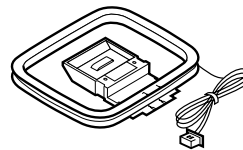
QT-MPA5
QT-MPA10

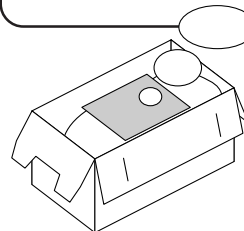
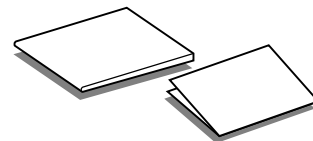
付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

AC アダプター× 1（約 1.5m）

（☞ P.14）

単 3 乾電池× 2（時計バックアップ用）

（☞ P.13）

USB ケーブル× 1（約 1.7m）

（☞ P.21）

AM 用ループアンテナ× 1

（☞ P.12）

取扱説明書（保証書付）× 1
クイックガイド× 1

付属の AC アダプターは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。
他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

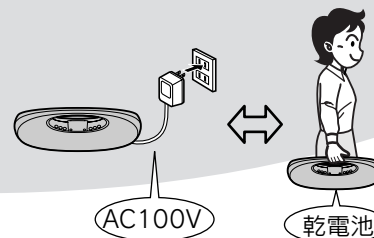
カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。
色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

おもな特長

「パソコンの音楽ライブラリーが持ち出せる、メモリーオーディオシステム」

この製品は、CDの曲や音楽配信サイトで購入した曲（ミュージックライブラリ）を、パソコンのWindows Media® Player を使用して本機に転送することで、パソコンの音楽ライブラリーをリビングや寝室・アウトドアで手軽に楽しめます。（☞ P.18 ～ 24）

「AC ／ DC 2 ウェイ電源対応」

AC 電源と乾電池の 2 電源方式採用により、アウトドアにも持ち出せます。（☞ P.14）

「FM／AMエアチェック」

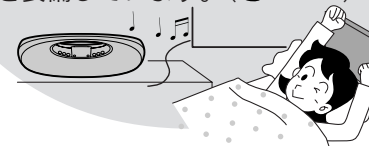
（ラジオ放送の録音）

生活情報を聞くのに便利なチューナーを搭載しています。また、ラジオ放送を手軽にMP3で録音することができます。（☞ P.33）

「モバイル入力端子」

携帯電話やデジタルオーディオプレーヤー、MD プレーヤーなどの音楽を高音質、大音量で楽しんだり、MP3で録音をすることができます。（☞ P.34 ～ 36）

「充実したタイマー機能」

- 一回だけ動作するワンスタイマーに加え、毎週指定した時刻に動作する、ウィークリータイマーも搭載しています。（☞ P.37）
- 曲を聞きながらおやすみになれる、スリープ機能を装備しています。（☞ P.41）

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

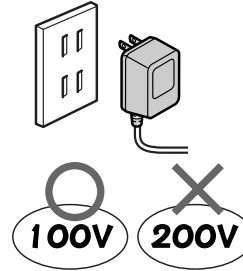
⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

	この記号は **気をつける必要がある** ことを表しています。
	この記号は **してはいけない** ことを表しています。
	この記号は **しなければならない** ことを表しています。

⚠警告

電源について

AC100V 以外の電源電圧では使用しない

火災・感電の原因となります。

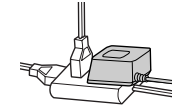
外国では使用しない

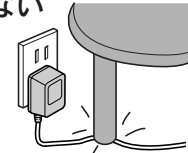
この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

ACアダプターについて

付属以外のACアダプターは使用しない

火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により、火災の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない

コードが破損し、火災・感電の原因となります。

コードが傷ついたときは…
販売店に交換をご依頼ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

内部に物や水などを入れない

開口部（通気孔やバスレフダクトなど）から金属類や燃えやすい物などを入れない

火災・感電・けがの原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…

電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない

火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…

電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷について

雷が鳴りだしたら…

安全のため、製品にさわらないでください

感電の原因となります。

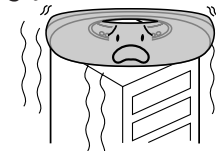
屋外で使用していて、雷が鳴りだしたら…

FMロッドアンテナをたたみ、AMアンテナをはずして、使用を中止してください

落雷の原因となります。

⚠注意

置き場所について

不安定な場所に置かない

落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

密閉した自動車等、直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

火災・事故の原因となることがあります。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

⚠注意

ご使用について

**風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない**

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所、ほこりの多い所で使用しない

焼損・発火や事故の原因となることがあります。

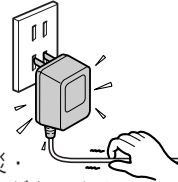
お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください

感電やけがの原因となることがあります。

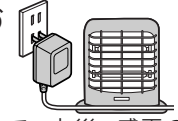
ACアダプターの取り扱いについて

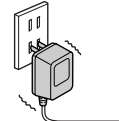
コンセントから抜くときはコードを引っぱらない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

コードを熱器具に近づけない

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する

火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください

移動するときは

電源を切り、ACアダプターやアンテナ線、接続コードを抜いてください

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける

思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

持ち運ぶときは

落としたり、衝撃を与えない

万一、落としたり、キャビネットを破損したときは、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

アンテナをのばしたまま持ち運ばない

アンテナが引っかかったり、目に当たったりして、けがや事故の原因となります。

⚠注意

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

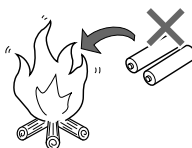
乾電池は幼児の手の届く所に置かない

乾電池を飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

乾電池の液が漏れたときは素手で触らない

- 乾電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

乾電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない また、乾電池は充電しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

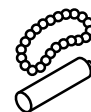
指定以外の乾電池を使わない 新しい乾電池と古い乾電池または種類の違う乾電池を混ぜて使わない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池を使いきったときや、長時間使わないときは、乾電池を取り出す

乾電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

その他

- 水に濡らさない
- ハンダ付けしない
- 金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞ P.54）
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

各部のなまえとはたらき

正　面

QT-MPA5
QT-MPA10

DISPLAY

表示切換ボタン
表示を切り換えます。
(☞P.24、33)

MENU
メニューボタン
各種メニューを切り換えます。
(☞P.17)

SEARCH/
AUX LEVEL

選曲／外部入力ボタン
音楽ファイルの選曲方法や、外部機器の入力レベルを切り換えます。
(☞P.24、35)

表示部 (☞P.17)

ON/STAND-BY

電源ボタン
本体の電源を入／切します。
(☞P.15)

VOLUME

音量調整ボタン
音量の調整をします。
(☞P.25)

P-MODE/ST

再生モード/FMステレオボタン
音楽ファイルの再生モードやFMステレオモードを切り換えます。
(☞P.29、30)

FUNCTION

入力切換ボタン
プレーヤーモード、チューナーモード、AUX(外部入力)モードを切り換えます。
(☞P.24、30、35)

カーソルボタン (△ ▽ ◁ ▷)
メニューの選択、カーソルの移動、曲の頭出し、早送り、早戻し など、いろいろな操作に使います。

決定ボタン (ⓔ)
メニューの決定、再生、一時停止 、録音などに使います。

TIMER

タイマー表示ランプ
タイマーの待機中や動作中に点灯します。
(☞P.39)

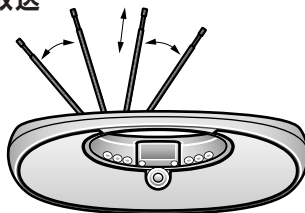
AMアンテナ端子
AM ANTENNA
付属のAM用ループアンテナを接続します。（☞P.12）
DC 9V
DC9V電源端子
付属のACアダプターを接続します。（☞P.14）
FMロッドアンテナ
FM放送を受信するときに使用します。（☞P.12）
バスレフダクト
低音の反響を良くします。
（物を入れないでください。）
バスレフダクト
低音の反響を良くします。
（物を入れないでください。）
ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続することができます。（☞P.12）
AUX INPUT
外部入力（モバイル入力）端子
携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーなどを接続することができます。（☞P.34）
乾電池ブタ
時計用乾電池と本体用乾電池を入れます。（☞P.13）
本体用乾電池は付属していません。
USB
USB端子
付属のUSBケーブルを接続します。（☞P.21）

FM・AM アンテナについて

アンテナを調整するには

AM 放送

AM 用ループアンテナで調整します。
できるだけ本体から離れた位置で、
方向を変えてください。

FM 放送

FM ロッドアンテナで調整します。
長さや方向を変えてください。

お知らせ

- この製品は、5℃～35℃の場所でお使いください。
- この製品をテレビ・携帯電話などの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品が誤動作したり、雑音が入ったりすることがあります。
そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してください。
- AM 用ループアンテナは、本体や AC アダプターから離してください。
近づけて使用すると雑音が入ることがあります。

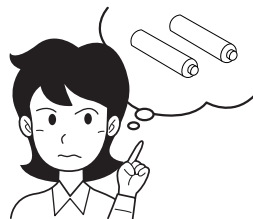
ヘッドホンを使うとき

- プラグを抜き差しするときは、音量を下げてから行ってください。
- インピーダンス16～50Ω（推奨32Ω）で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は聞こえなくなります。

**音の
エチケット**

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

時計用乾電池を入れる

QT-MPA5
QT-MPA10

時計用乾電池は何のために入れるの？

時計用乾電池を入れておくと、**停電したときや、ACアダプターを抜いたとき、本体用乾電池が消耗したときでも、**設定した時計の時刻を保持することができます。

内容	乾電池あり	乾電池なし
時計の時刻	保持	消える

時計用乾電池の交換時期は？

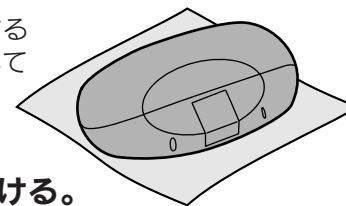
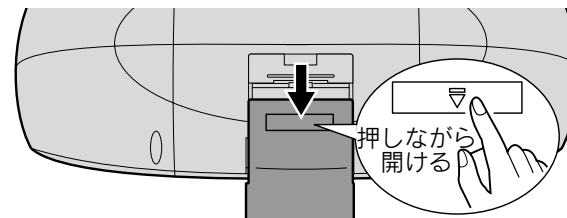
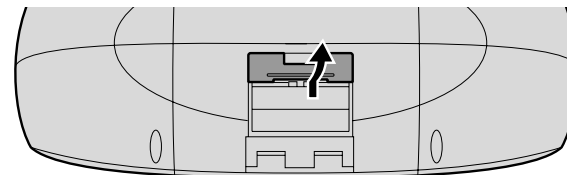
ACアダプターと本体用乾電池の両方を使用していない状態で約2ヵ月です。
乾電池が消耗すると、設定した時計の時刻が保持されません。

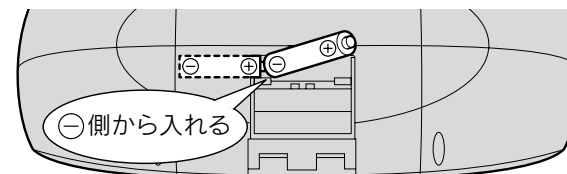
時計用乾電池を交換するときは

ACアダプターをつないで行ってください。
ACアダプターをつながないで時計用乾電池を交換すると、設定した時計の時刻が消えてしまいます。

お知らせ

充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
充電池では正しく動作しません。

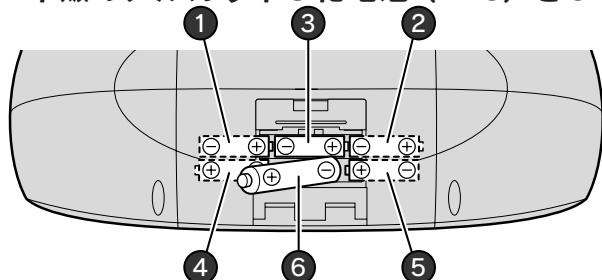
乾電池を入れたり、取り出したりするときは、傷つき防止のため布を敷いてください。

① **本体用の乾電池ブタを開ける。**

② **時計用の乾電池ブタを開ける。**

③ **付属の単3乾電池を2本入れる。**

乾電池の方向に注意して入れてください。
⊕⊖をまちがえると、故障の原因となります。

④ **時計用と本体用の乾電池ブタを閉める。**

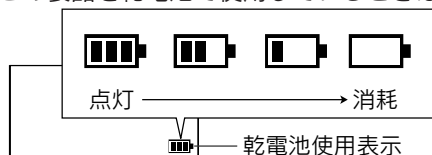
乾電池で使う　どちらでも使えます　ACアダプターで使う

① **本体用の乾電池ブタを開ける。**

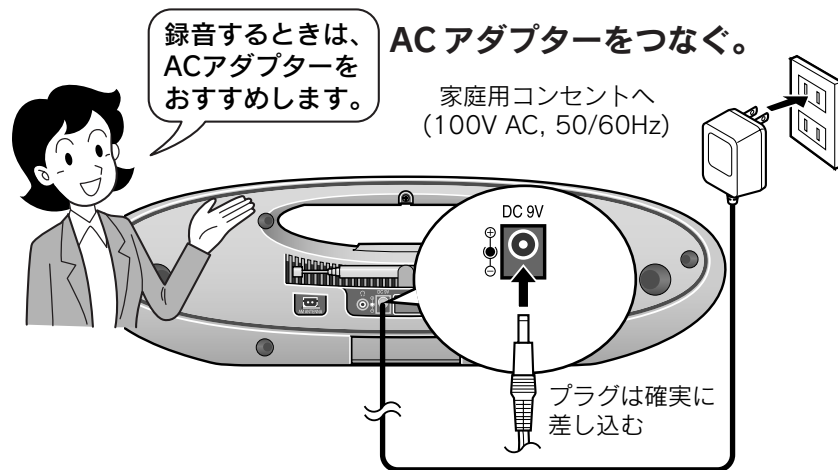
② **市販のアルカリ単３乾電池（LR6）を６本入れる。**

乾電池の方向に注意して入れてください。
⊕⊖をまちがえると、故障の原因となります。

③ **本体用の乾電池ブタを閉める。**

乾電池の交換時期は？

この製品を乾電池で使用しているときは､乾電池使用表示が点灯します。

「電池を交換してください」と表示され電源が切れます。

お知らせ

- 時計用乾電池の消耗状態は表示されません。
- 充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
  充電池では正しく動作しません。
  また、マンガン乾電池を使用すると、使用できる時間が短くなりますので、アルカリ乾電池を使用してください。
- 乾電池を入れているときに､ACアダプターをつなぐと､ACアダプターの電源に切り換わります。（乾電池使用表示は消灯します。）
  ACアダプターを取りはずすと乾電池の電源になり､乾電池使用表示が点灯します。（点灯までに数分かかることがあります。）

ACアダプターをつなぐ。

節電のために

旅行などで長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いて、本体用乾電池を取り出しておきましょう。

ご注意

- ACアダプターを抜くときは、電源を切ってから、ACアダプターを持って抜いてください｡コードを引っ張ると断線の原因となります。
- **付属品以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。**
  故障や事故の原因となります。

乾電池で使用するときと､ACアダプターで使用するときの動作は､次のように変わります。

	乾電池	ACアダプター
タイマー（☞ P.37～40）	**動作しない**	動作する
スリープ（☞ P.41）	動作する	動作する

電源を入れる

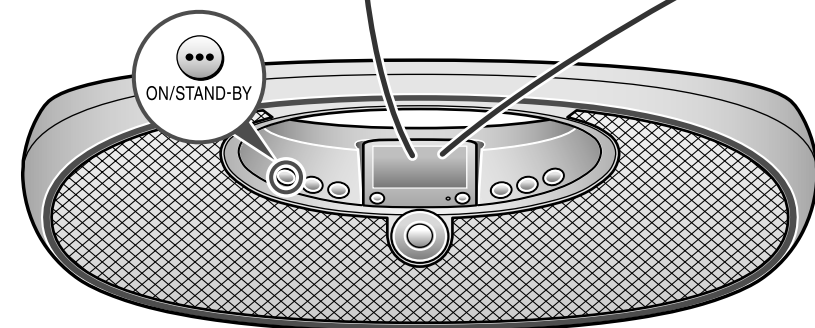
押す。

ON/STAND-BY

表示されるまでは時間がかかる場合があります。

はじめて電源を入れると、このような表示が出ますので、時計を合わせてください。（☞ P.16）

⇩

プレーヤーモード（☞ P.24）、チューナーモード（☞ P.30）、AUXモード（☞ P.35）のいずれかを表示します。

電源を切るには

もう一度、

押す。

ON/STAND-BY

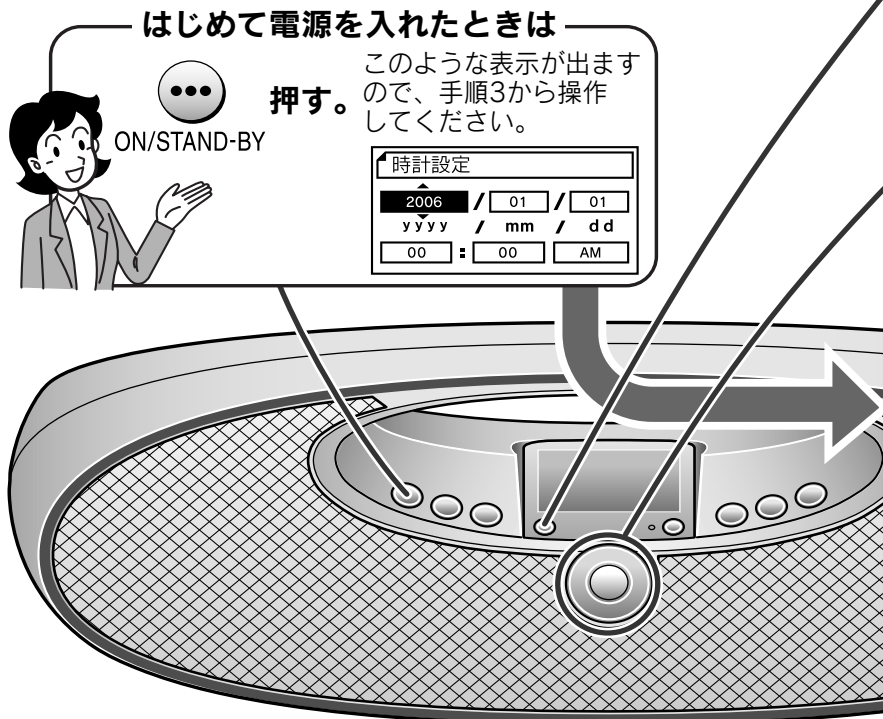
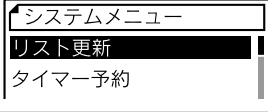
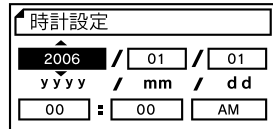
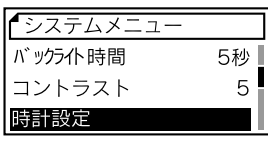
ACアダプターで使用していたときと、乾電池で使用していたときは、電源を切ったときの表示が変わります。

	ACアダプター	乾電池
表示部	8:59 AM（時計表示）	（消灯）

- ACアダプターで使用中に電源を切ったときの時計表示は、電源が入っているときに表示させた時計と同じ表示になります。（☞ P.17）

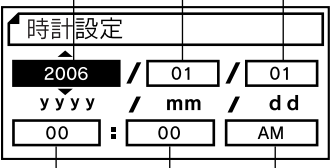
お知らせ

- 電源が入らないときは、AC アダプターが正しくつながっているか、または本体用の乾電池が正しく入っているか確認してください。
- 時計用乾電池だけが入っているとき（AC アダプターをつながないで、乾電池も入っていないとき）に、ON/STAND-BY を長押し（約２秒）すると、設定した時計の時刻（☞ P.16）は消えます。

時計を合わせる

はじめて電源を入れたときは

ON/STAND-BY 押す。このような表示が出ますので、手順3から操作してください。

1 MENU **長押し**（約2秒）**して、システムメニューにする。**

2 **「時計設定」を選ぶ。**

決定する。

システムメニュー
バックライト時間 5秒
コントラスト 5
時計設定

3 **「年」「月」「日」「時」「分」「AM／PM」を選んで合わす。**

:選ぶ。

:合わす。

※AM 0：00→夜の12時／PM 0：00→昼の12時

4 **決定する。**

FUNCTION このあと、それぞれのモードに切換えることができます。

□□□□⇨（次のページへ）

前の手順に戻る ⇨ MENU **押す。**

操作をやめる ⇨ MENU **長押し。**（約 2 秒）

お知らせ

- 時計の精度には､若干の誤差がありますので､時刻の修正を定期的に行うことをおすすめします。
- この製品の時計（年・月・日）は、2000 年 1 月 1 日～ 2099 年 12 月 31 日まで対応しています。
- 時計の時刻を変更すると、タイマー予約（☞ **P.37 ～ 40**）や、おやすみタイマー（スリープ）（☞ **P.41**）の設定が「オフ」になります。

日付や時刻を修正するには…

時計合わせの操作をはじめからやり直します。

おもなモードについて

56～57ページの「メニュー一覧」もごらんください。

QT-MPA5
QT-MPA10

それぞれのボタンを押すと、各モードやメニュー表示に切り換わります。

プレーヤーモード（☞P.24）
（再生画面）
タイトルA
アーティストA
(1/9) 0 : 00
FLAT

FUNCTION

チューナーモード（☞P.30）
FM 76.00 MHz
プリセット 08
録音スタンバイ
ST 128kbps

FUNCTION

AM 522 kHz
プリセット 09
録音スタンバイ
128kbps

FUNCTION

AUX（外部入力）モード（☞P.35）
AUX Level
Low Gain 0
録音スタンバイ
128kbps

FUNCTION

SEARCH/AUX LEVEL

（選曲画面）
プレイリスト
すべて再生
フォルダ
リストモード
（☞P.24、26～28）

MENU

再生メニュー
再生メニュー
音質設定 フラット
プレイリスト編集
曲削除
（☞P.25、26、29）

MENU

チューナーメニュー
チューナーメニュー
録音モード 128kbps
プリセット登録
プリセット削除
（☞P.31～33）

MENU

AUX（録音）メニュー
録音メニュー
録音モード 128kbps
シンクロ録音 オフ
（☞P.36）

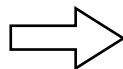
時刻を表示させるには

DISPLAY を長押し（約２秒）します。

8:59 AM

- 時計表示を解除するには、もう一度、長押ししてください。
- 「選曲画面」と「システムメニュー画面」が表示されているときは、時計表示を切り換えることはできません。他の画面に切り換えて操作してください。
- 入力（FUNCTION）を切り換えたり、電源を入れ直すと、時計表示は解除されます。

音楽CDの曲をパソコン（Windows Media® Player）に録音する

QT-MPA5
QT-MPA10

くわしい操作については
Windows Media® Playerの
ヘルプなどを
ごらんください。

Windows Media® Player 10のとき

1 Windows Media® Player を起動する。
（Windows® XPの手順で説明しています。）

2 パソコンにCDを入れる。

3 「取り込み」をクリックする。

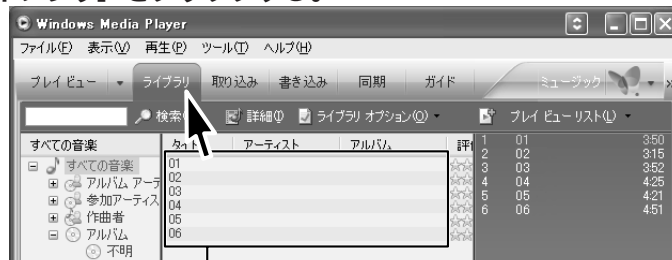
はじめはすべての曲にチェックマークがついています。
チェックマークのついている曲が録音されます。

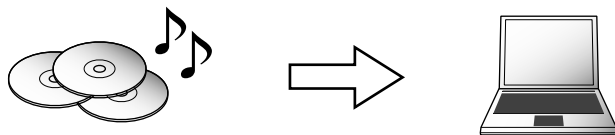
4 「音楽の取り込み」をクリックする。
録音が始まります。

録音が終了した曲はライブラリに取り込まれ、チェックマークが外れます。

初めてお使いのときは、オプション設定が表示されますので、指示にしたがって操作してください。

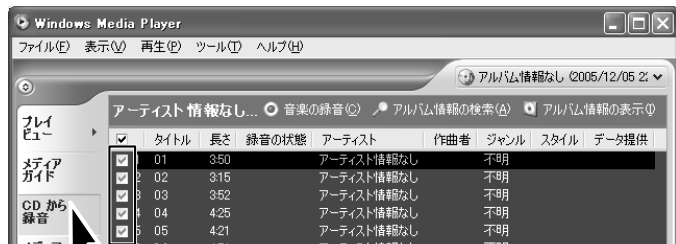
録音した曲を確認するには

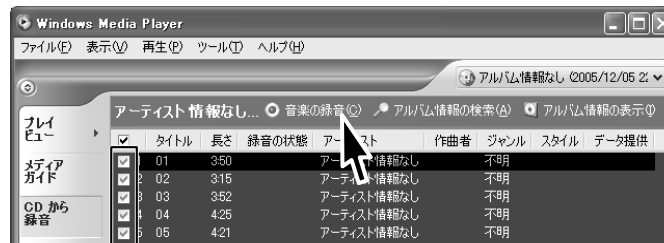
「ライブラリ」をクリックする。

録音した曲の確認ができます。

（☞ P.21、22へ続く）

Windows Media® Player 9のとき

1 Windows Media® Player を起動する。
（Windows® XPの手順で説明しています。）

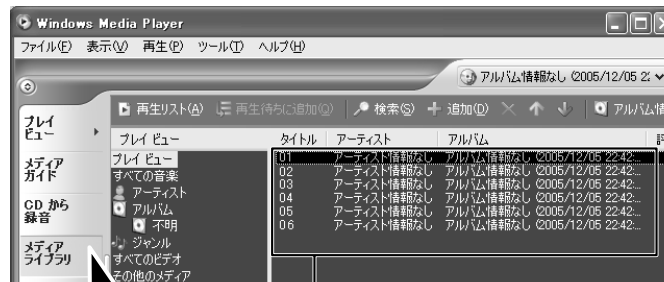
2 パソコンにCDを入れる。

3 「CDから録音」をクリックする。

はじめはすべての曲にチェックマークがついています。
チェックマークのついている曲が録音されます。

4 「音楽の録音」をクリックする。
録音が始まります。

録音が終了した曲はメディアライブラリに取り込まれ、チェックマークが外れます。

初めてお使いのときは、オプション設定が表示されますので、指示にしたがって操作してください。

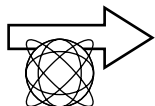
録音した曲を確認するには

「メディアライブラリ」をクリックする。

録音した曲の確認ができます。

（☞ P.21、23へ続く）

音楽配信サイトで購入した曲をパソコン(Windows Media® Player)に取り込む

QT-MPA5
QT-MPA10

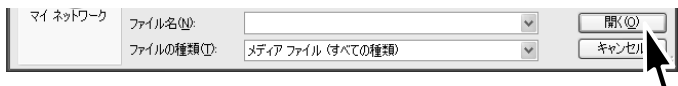
音楽配信サイトから曲を購入する

くわしい操作については
Windows Media® Playerの
ヘルプなどを
ごらんください。

Windows Media® Player 10 のとき

1 Windows Media® Player を起動する。

2 購入した曲をライブラリに追加する。

「ファイル」→「ライブラリに追加」→
「ファイルまたは再生リストを追加」の順にクリックします。

3 音楽ファイルを選択して、「開く」をクリックする。

ライブラリに音楽ファイルが取り込まれます。

(☞ P.21、22へ続く)

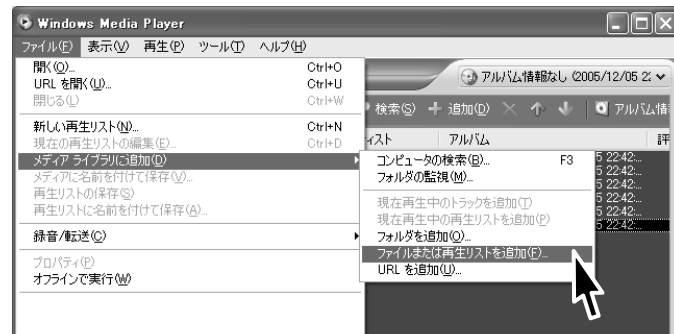
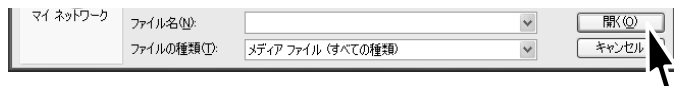
Windows Media® Player 9 のとき

1 Windows Media® Player を起動する。

2 購入した曲をメディアライブラリに追加する。

「ファイル」→「メディアライブラリに追加」→
「ファイルまたは再生リストを追加」の順にクリックします。

3 音楽ファイルを選択して、「開く」をクリックする。

マイ ネットワーク
ファイル名(N):
ファイルの種類(T): メディア ファイル (すべての種類)
開く(O)
キャンセル

メディアライブラリに音楽ファイルが取り込まれます。

(☞ P.21、23へ続く)

パソコンと本機を接続する

QT-MPA5
QT-MPA10

1 パソコンの電源を入れる。

Windows® が起動したあと接続してください。

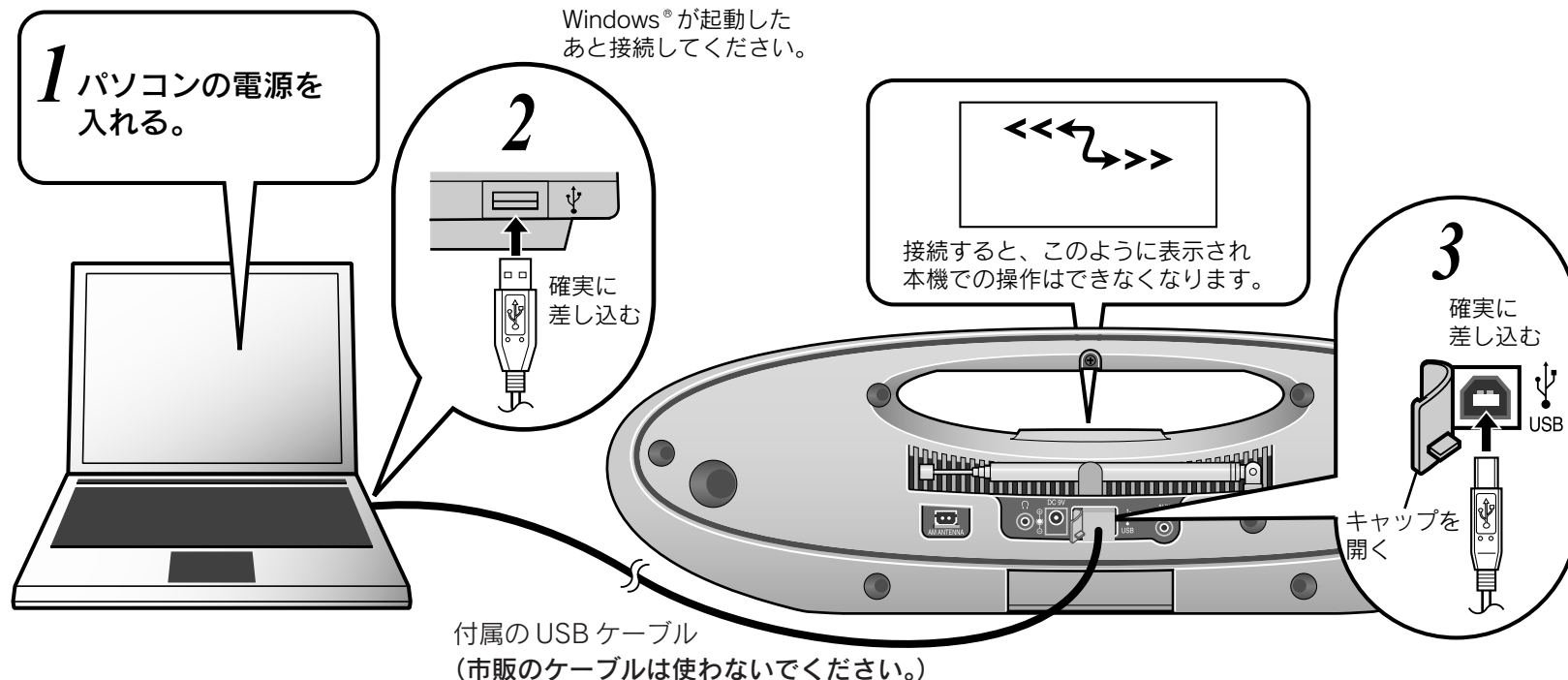
2 確実に差し込む

接続すると、このように表示され本機での操作はできなくなります。

3 確実に差し込む

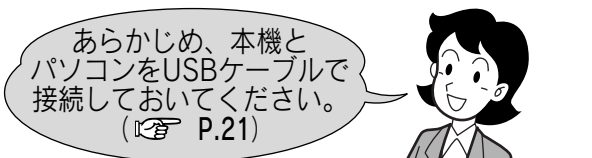
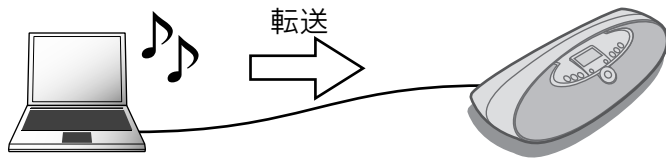
USB

キャップを開く

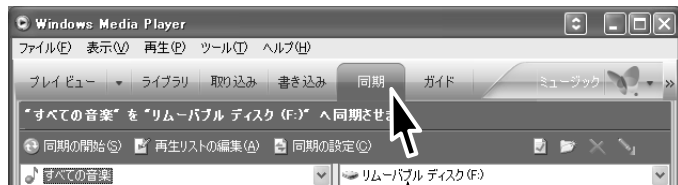
付属の USB ケーブル
(市販のケーブルは使わないでください。)

ご注意

- **必ずパソコンの電源が入った状態で接続してください。パソコンと本機を接続した状態で、パソコンの電源を入れたり、再起動を行うと、正常に動作しない場合があります。**
- 1台のパソコンに、2台目のUSB機器として本機を接続しないでください。2台目の機器として接続した場合の動作は保証できません。
- USBケーブルは、パソコンのUSB端子に直接接続してください。USBハブ等を経由しての動作は保証できません。
- 「転送中」が表示されているときは、USBケーブルを抜かないでください。

お知らせ

- パソコンと接続すると、ストレージ機能により、リムーバブルディスクとして使用することもできます。(☞ P.46)
- 自作機やマザーボード変更などの改造を加えているパソコンに関しては、動作保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- 二股ケーブルや延長ケーブルなど、付属のUSBケーブル以外を使用すると、回線品質が下がり、正常に動作しない可能性がありますので注意してください。
- **USBケーブルでパソコンと接続すると、本体の電源はUSBケーブルから供給されますので、ACアダプターを接続する必要はありません。**

Windows Media® Player 10 のとき

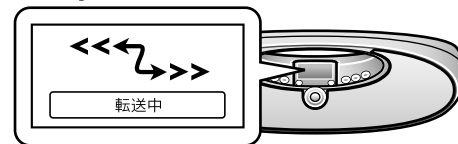
1 Windows Media® Player を起動する。

2 「同期」をクリックする。

本機（リムーバブルディスク）を選んでください。
表示されないときは、 F5 を押したあと選んでください。

3 「すべての音楽」を選ぶ。

必要な曲のみチェックすることができます。

4 「同期の開始」をクリックする。

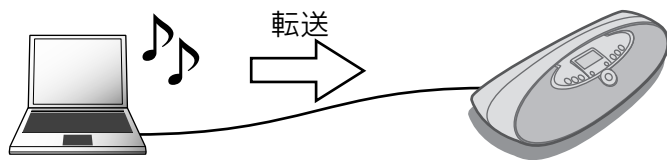
転送が始まります。

- 転送中は、このような表示になります。
- 「転送中」の文字が消えたあと、以下の操作を行って取り外してください。

本機とパソコンを取り外す

本機とパソコンを安全に取り外すために次の操作を行ってください。
(Windows® XP の画面で説明しています。)

① タスクバーの をクリックする。

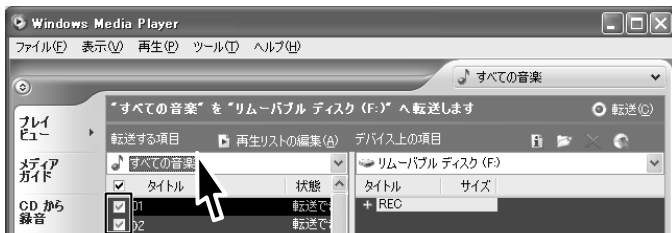
② 表示されたメッセージをクリックする。

③「USB 大容量記憶装置デバイスを安全に取り外すことができます」と表示されたあと、USB ケーブルを取り外す。

Windows Media® Player 9のとき

1 Windows Media® Player を起動する。

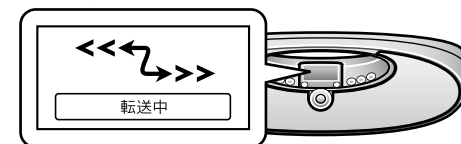
2「デバイスへ転送」をクリックする。

本機（リムーバブルディスク）を選んでください。表示されないときは、F5 を押したあと選んでください。

3「すべての音楽」を選ぶ。

必要な曲のみチェックすることができます。

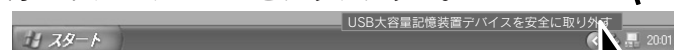
4「転送」をクリックする。

転送が始まります。

- 転送中は、このような表示になります。
- 「転送中」の文字が消えたあと、以下の操作を行って取り外してください。

本機とパソコンを取り外す

本機とパソコンを安全に取り外すために次の操作を行ってください。（Windows® XP の画面で説明しています。）

①タスクバーの をクリックする。

②表示されたメッセージをクリックする。

③「USB 大容量記憶装置デバイスを安全に取り外すことができます」と表示されたあと、USB ケーブルを取り外す。

パソコンの準備

MP3やWMA、WAV音楽ファイルを再生する

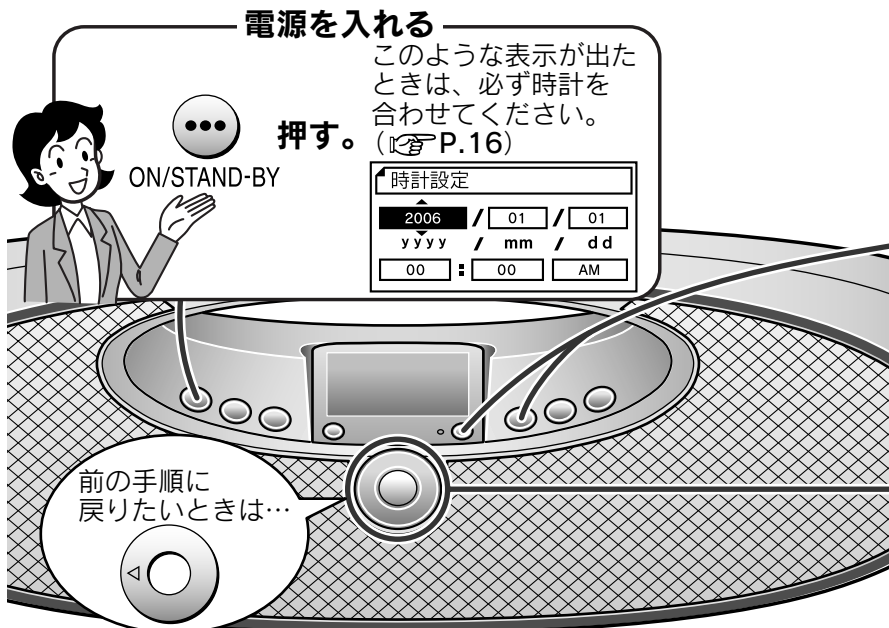
QT-MPA5
QT-MPA10

電源を入れる

ON/STAND-BY **押す。**

このような表示が出たときは、必ず時計を合わせてください。（☞P.16）

時計設定
2006 / 01 / 01
yyyy / mm / dd
00 : 00 AM

前の手順に戻りたいときは…

1 FUNCTION **プレーヤーモードにする。**

SEARCH/
押すたびに切り換わります。

（再生画面）
タイトルA
アーティストA
(1/9) 0 : 00
FLAT

（選曲画面）
プレイリスト
すべて再生
フォルダ
リストモード

2 **選曲画面から「すべて再生」を選ぶ。**

決定する。

プレイリスト
すべて再生
フォルダ
リストモード

3 **曲を選ぶ。**

決定する。

選んだ曲から再生が始まり、最後の曲の再生が終わると停止します。

タイトルA
タイトルB
タイトルC
タイトルD

各設定の操作は ⇨ 30秒以内に操作してください。

一時停止（停止） ⇨ **押す。**
もう一度押すと再生します。

曲の頭出し ⇨ **押す。**

早送り／早戻し ⇨ **押したままにする。**

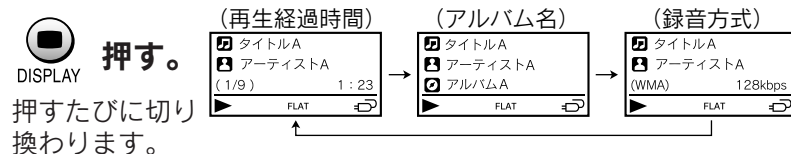
表示を切り換えるには…

DISPLAY **押す。**

押すたびに切り換わります。

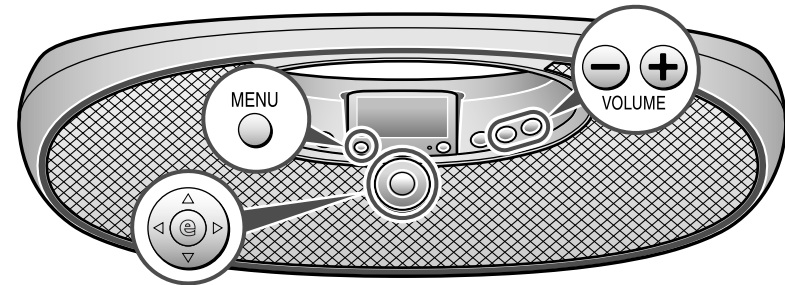
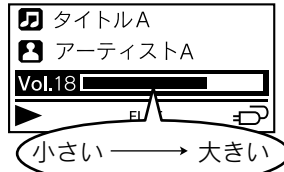
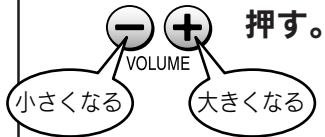
（再生経過時間）
タイトルA
アーティストA
(1/9) 1 : 23
FLAT

→（アルバム名）
タイトルA
アーティストA
アルバムA
FLAT

→（録音方式）
タイトルA
アーティストA
(WMA) 128kbps
FLAT

お知らせ
曲を再生中にシステムメニューに切り換えると、再生が停止します。

音量・音質の調整

音量を調整する

押す。

音質を調整する

① MENU 再生中に…
再生メニューにする。

再生メニュー
音質設定 フラット
プレイリスト編集
曲削除

② **決定する。**

③ **好みの音質を選ぶ。**

音質設定
✔フラット
ロック
ジャズ

フラット：
音質調整をしない

ロック：
ロックに適した音質

ジャズ：
ジャズに適した音質

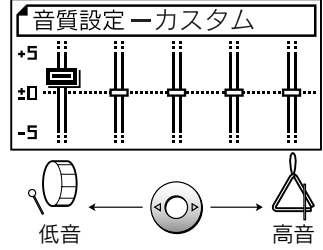
ポップス：
ポップスに適した音質

クラシック：
クラシックに適した音質

X-BASS1：
低音を強調する

X-BASS2：
低音をさらに強調する

カスタム：
好みの音質を登録することができます

④ **決定する。**
プレーヤーモードに戻ります。

好みの音質を登録する

音質を調整する手順の③で「カスタム」を選択して、ⓔを押したあと

① **調整する。**

低音から高音までを5つに分けて、それぞれ調整することができます。

強める
弱める
音質設定ーカスタム
+5
±0
-5
低音
高音

② **決定する。**

設定した音質が登録されて、プレーヤーモードに戻ります。

各設定の操作は ⇨ 30秒以内に操作してください。

前の手順に戻る ⇨ MENU **押す。**

操作をやめる ⇨ MENU **長押し。**（約2秒）

お知らせ

- **音質は、プレーヤーモードのときしか調整できません。**
- 音量を "27" 以上に設定しているときは、音のひずみを少なくするために、音質調整の効果を弱くしています。

本機で音楽ファイルを聞く

プレイリストを作る、プレイリストから再生する

QT-MPA5
QT-MPA10

音楽ファイルの中から、お好みの曲だけのリストを使って再生することができます。

準備：電源を入れる。

プレイリストを作る

1 FUNCTION
プレーヤーモードにする。
全曲から選ぶときは、「すべて再生」を選ぶ。（☞ P.24）

タイトルA
アーティストA

2 MENU
再生メニューにする。

再生メニュー
音質設定　フラット

3
「プレイリスト編集」を選ぶ。
決定する。
再生される曲が表示されます。

再生メニュー
音質設定　フラット
プレイリスト編集
曲削除

4
プレイリストに追加したい曲を選ぶ。
決定する。
複数の曲をまとめて選べます。
☑マークがつきます。

プレイリスト編集
タイトルA
タイトルB
タイトルC

5
押す。
プレイリストに曲が追加されて、プレーヤーモードに戻ります。

各設定の操作は ⇨ 30 秒以内に操作してください。
前の手順に戻る ⇨ MENU **押す。**
操作をやめる ⇨ MENU **長押し。**（約 2 秒）

プレイリストから再生する

各設定の操作は ⇨ 30 秒以内に操作してください。
前の手順に戻る ⇨ **押す。**
操作をやめる ⇨ SEARCH/ **押す。**

プレイリストから曲をはずすには…

「プレイリスト」の選曲画面（上記の手順 1 〜 2）に設定したあとに、「プレイリスト編集」画面で、はずしたい曲を選び、ⓔを押す（左の手順 2 〜 5）。（☑マークが消えます。）

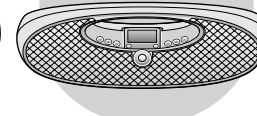
本機で音楽ファイルを聞く

フォルダを作る（Windows Media® Player にて）、フォルダから再生する

QT-MPA5
QT-MPA10

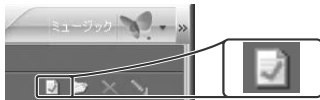
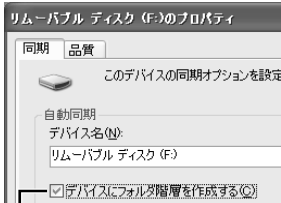
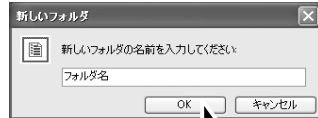
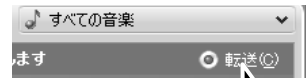
パソコン操作

Windows Media® Playerでフォルダを作り、音楽ファイルを整理しておくと、フォルダ単位で曲を聞くことができます。

準備： Windows Media® Playerを起動して、転送の準備をする。
（☞ P.22 またはP.23　手順１～３）

くわしい操作についてはWindows Media® Playerのヘルプなどをごらんください。

本機の操作

準備： 電源を入れる。

フォルダを作る

	Windows Media® Player 10 のとき	Windows Media® Player 9 のとき
1	**プロパティ表示アイコンをクリックする。**	**フォルダ作成アイコンをクリックする。**
2	**「デバイスにフォルダ階層を作成する」にチェックマークを入れる。** チェックマークを入れる。	**表示された画面にフォルダ名を入力し「OK」をクリックする。** 新しくフォルダが作成されます。
3	**「同期の開始」をクリックする。** 「MUSIC」フォルダの中にアーティスト名、アルバム名などの、フォルダが自動的に作成されます。	**「転送」をクリックする。** 新しく作成されたフォルダの中に曲が転送されます。

フォルダから再生する

1 FUNCTION
プレーヤーモードにする。

タイトルA
アーティストA

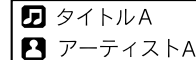
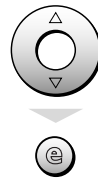
2 SEARCH/
選曲画面にする。

プレイリスト
すべて再生

3
「フォルダ」を選ぶ。

プレイリスト
すべて再生
フォルダ
リストモード

決定する。

4

フォルダを選ぶ。

フォルダ
FM
MUSIC
REC

決定する。

この操作をくり返し、フォルダ内の曲を選んでください。
選んだ曲の再生が始まり、そのフォルダの最後の曲の再生が終わると停止します。

各設定の操作は ⇨ 30 秒以内に操作してください。

前の手順に戻る ⇨ **押す。**

操作をやめる ⇨ SEARCH/ **押す。**

リスト更新をする

リストモードから再生する前に…

リストモードから再生する場合、パソコン（Windows Media® Player）から本機に曲を転送したあとは、リストの更新を必ず行ってください。
（リストモードの表示が正しくされません。）

準備： 電源を入れる。

各設定の操作は ⇨ 30秒以内に操作してください。

前の手順に戻る ⇨ MENU **押す。**

操作をやめる ⇨ MENU **長押し。**（約２秒）

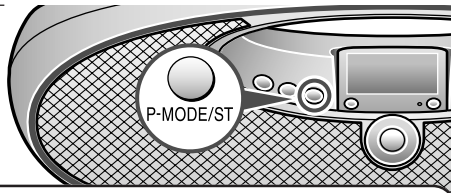
前の手順に戻る ⇨ 押す。
操作をやめる ⇨ SEARCH/ 押す。

リストモードから再生する（アーティスト・アルバム）

アーティスト名またはアルバム名ごとにリスト表示し、すばやく選曲することができます。

手順	ボタン	操作	表示
1	FUNCTION	**プレーヤーモードにする。**	タイトルA / アーティストA
2	SEARCH/	**選曲画面にする。**	プレイリスト / すべて再生
3		**「リストモード」を選ぶ。** **決定する。**	プレイリスト / すべて再生 / フォルダ / リストモード
4		**「アーティスト」または「アルバム」を選ぶ。** **決定する。** 「アルバム」を選んだときは手順６へ	アーティスト / アルバム
5		**聞きたいアーティスト名を選ぶ。** **決定する。** アーティスト名のない曲は「Unknown」と表示されます。	アーティストA / アーティストB
6		**聞きたいアルバム名を選ぶ。** **決定する。** アルバム名のない曲は「Unknown」と表示されます。	アーティストA / アルバムA / アルバムB
7		**聞きたい曲を選ぶ。** **決定する。** 選んだ曲から再生が始まり、曲リストの最後の曲の再生が終わると停止します。	アルバムA / タイトルA / タイトルB

再生モードを切り換える

リピート再生やランダム再生が楽しめます。

再生中または一時停止中に…
押す。

押すたびに切り換わります。

ONE	1 曲をくり返し再生（1 曲リピート再生）
ALL	全曲をくり返し再生（全曲リピート再生）
RND	全曲を順不同で再生（ランダム再生）
RND	全曲を順不同でくり返し再生（ランダムリピート再生）
表示なし	通常再生

プレイリスト再生：
登録したプレイリスト内で動作します。（☞ P.26）

フォルダ再生：
今聞いているフォルダ内で動作します。（☞ P.27）

リストモード再生：
今聞いているアルバム内で動作します。（☞ P.28）（アーティスト名での動作はしません。）

お知らせ
- 再生中に切り換えると、その時点からリピート再生またはランダム再生が始まります。
- **リピート再生は、止めるまで続きます。お聞きになったあとは、必ず停止してください。**
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。ただし、同じ曲が2回再生されることはありません。

再生メニューから曲を削除する

再生メニューから、不要な曲を選んで削除することができます。

準備： 全曲から選ぶときは、「すべて再生」を選ぶ。（☞ P.24）

各設定の操作は ⇨ 30 秒以内に操作してください。
前の手順に戻る ⇨ MENU **押す。**
操作をやめる ⇨ MENU **長押し。**（約 2 秒）

お知らせ
- **本機で曲を消すと、もとには戻せません。消してもよいか、よく確かめてから操作してください。**
- 購入した音楽ファイルを削除するときは、Windows Media® Playerを使ってください。くわしい操作方法はWindows Media® Player のヘルプなどをごらんください。

ラジオ放送を聞く

QT-MPA5
QT-MPA10

音量を調整する ⇨ − + 押す。
VOLUME
小さくなる
大きくなる

■ TV音声について

- FMチューナーでは、テレビの1～3チャンネルの音声が聞けます。（FM 95.75 MHz、FM 101.75 MHz、FM 107.75 MHz）
- テレビ音声はモノラルで受信されます。
- 音声多重放送は受信できません。
- 地上デジタル放送は受信できません。
- この製品のテレビ音声受信回路は、FM放送受信回路と兼用しています。このため、地域によっては、FM放送が混信することがあります。

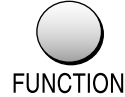
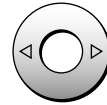
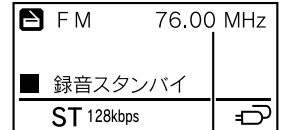
地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。

1

FUNCTION

「FM」または「AM」を選ぶ。

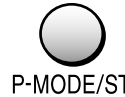
FM 76.00 MHz
■ 録音スタンバイ
ST 128kbps

2

放送局を選ぶ。

FM 76.00 MHz
■ 録音スタンバイ
ST 128kbps
周波数

自動受信： ボタンを長押し（約2秒）すると、「サーチ中」が表示され電波の強い放送局を自動的に受信します。
途中で止めたいときは、もう一度ボタンを押します。

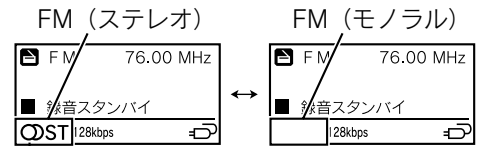
手動受信： 希望する放送局が受信できないときは、ボタンを小きざみに押して、周波数で選局してください。

3

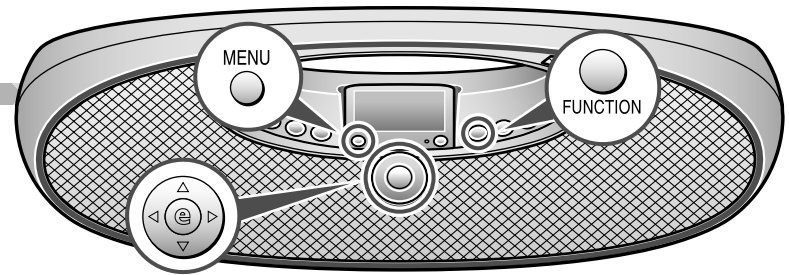
P-MODE/ST

「FM」のときは、ステレオかモノラルを選ぶ。

押すたびに切り換わります。

FM（ステレオ） ↔ FM（モノラル）

FM 76.00 MHz
■ 録音スタンバイ
ST 128kbps

FMステレオ放送を受信すると「 」が表示されます。
FMステレオ放送を受信しても電波が弱いと「 ◎ 」が表示されません。
雑音が多いときはモノラルに切り換えると、聞きやすくなります。

放送局を登録して聞く

電波の強い放送局を自動的に選びながら、FM → AM(AM → FM)を一度に登録することができます。
登録できる放送局の数は、FM と AM を合わせて最大 30 局です。

自動で放送局を登録する（オートプリセット）

1 FUNCTION 「FM」または「AM」を選ぶ。

2 MENU チューナーメニューにする。

チューナーメニュー
録音モード 128kbps

3 「オートプリセット」を選ぶ。

チューナーメニュー
プリセット登録
プリセット削除
オートプリセット

決定する。

4 「はい」を選ぶ。

オートプリセットを
実行しますか？
はい　いいえ

決定する。

FM→AM(またはAM→FM)の放送局が一度に続けて登録されます。
FMとAMを別々に操作する必要はありません。

オートプリセット中

⇩

完了しました

チューナーモードに戻ります。

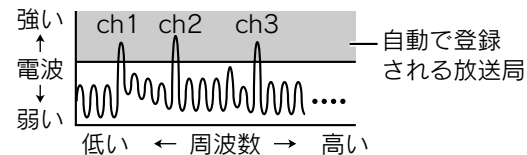
ご注意
前に登録した放送局はすべて消えます。

登録した放送局を呼び出す

1 FUNCTION 「FM」または「AM」を選ぶ。

2 プリセット番号を選ぶ。

プリセット番号

FM と AM のすべてのスキャンが終わるか、途中でも30局まで登録されると終了します。

各設定の操作は ⇨ 30 秒以内に操作してください。

前の手順に戻る ⇨ 押す。

操作をやめる ⇨ 長押し。（約 2 秒）

放送局を登録して聞く（続き）

「オートプリセット」で登録できなかった放送局でも、1局ずつ登録することができます。

放送局を1局ずつ登録する

1 登録したい放送局を受信する。
（☞ P.30）

2 MENU チューナーメニューにする。

チューナーメニュー
録音モード 128kbps
プリセット登録
プリセット削除

3 「プリセット登録」を選ぶ。

決定する。

チューナーメニュー
録音モード 128kbps
プリセット登録
プリセット削除

4 プリセット番号を選び、決定する。
登録済みの番号に登録すると、前の放送局は消えます。

プリセット登録
01 FM 76.00 MHz
02 AM 522 kHz
03 FM 77.80 MHz
プリセット番号

5 「はい」を選ぶ。

決定する。
チューナーモードに戻ります。

プリセットchに登録しますか？
はい　いいえ

6 他の放送局を登録するには、手順1～5をくり返す。

登録してある放送局の中から、不要な放送局を1局ずつ削除することができます。

各設定の操作は ⇨ 30秒以内に操作してください。
前の手順に戻る ⇨ MENU **押す。**
操作をやめる ⇨ MENU **長押し。**（約2秒）

ラジオ放送を録音する

準備：電源を入れて、「FM」または「AM」にする。

録音する前に

録音残り時間を確認できます。

1 録音したい放送局を受信する。
（☞ P.30）

2 録音モードを切り換える。（☞ 右の手順）

3 押して、録音を開始する。

「●」が点灯し、録音が始まります。

録音を停止する ⇨ 録音中に ⓔ **押す。**

録音中は MENU P-MODE/ST FUNCTION の切り換えや、放送局の選択、プリセット番号の選択はできません。操作するときは、一度録音を停止してください。

ファイル名は自動的につきます。

例えば、3月15日にFM放送を録音したときは、右のようにファイル名がつき、「REC」フォルダに保存されます。

F0315＊＊＊.MP3
- ＊＊＊：アルファベットか数字
- 0315：録音した日付
- 「F」：FMから録音したとき
- 「A」：AMから録音したとき

録音した放送を聞くには

「REC」フォルダの中から聞きたいファイル名を選びます。
（フォルダから再生する：☞ P.27）

録音内容保存のお願い

録音したファイルなど重要なデータは、パソコンに必ずバックアップしてください。（☞ P.46）

録音モードを変更する

より良い音質で録音したいときは、録音モードの数値を大きくします。数値を小さくするとファイルの容量が小さくなり、長い時間録音することができます。

1 MENU チューナーメニューにする。

2 「録音モード」を選ぶ。
ⓔ 決定する。

3 録音モードを選ぶ。
ⓔ 決定する。

	音質	容量
192kbps ：	向上	大きい
128kbps ：	標準	標準
64kbps ：	低下	小さい

設定は変更するまで変わりません。

お知らせ

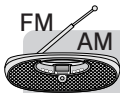
ラジオ放送から録音するときと外部入力から録音するときの録音モードの設定は、別々にできます。

各設定の操作は ⇨ 30秒以内に操作してください。

前の手順に戻る ⇨ MENU **押す。**

操作をやめる ⇨ MENU **長押し。**（約2秒）

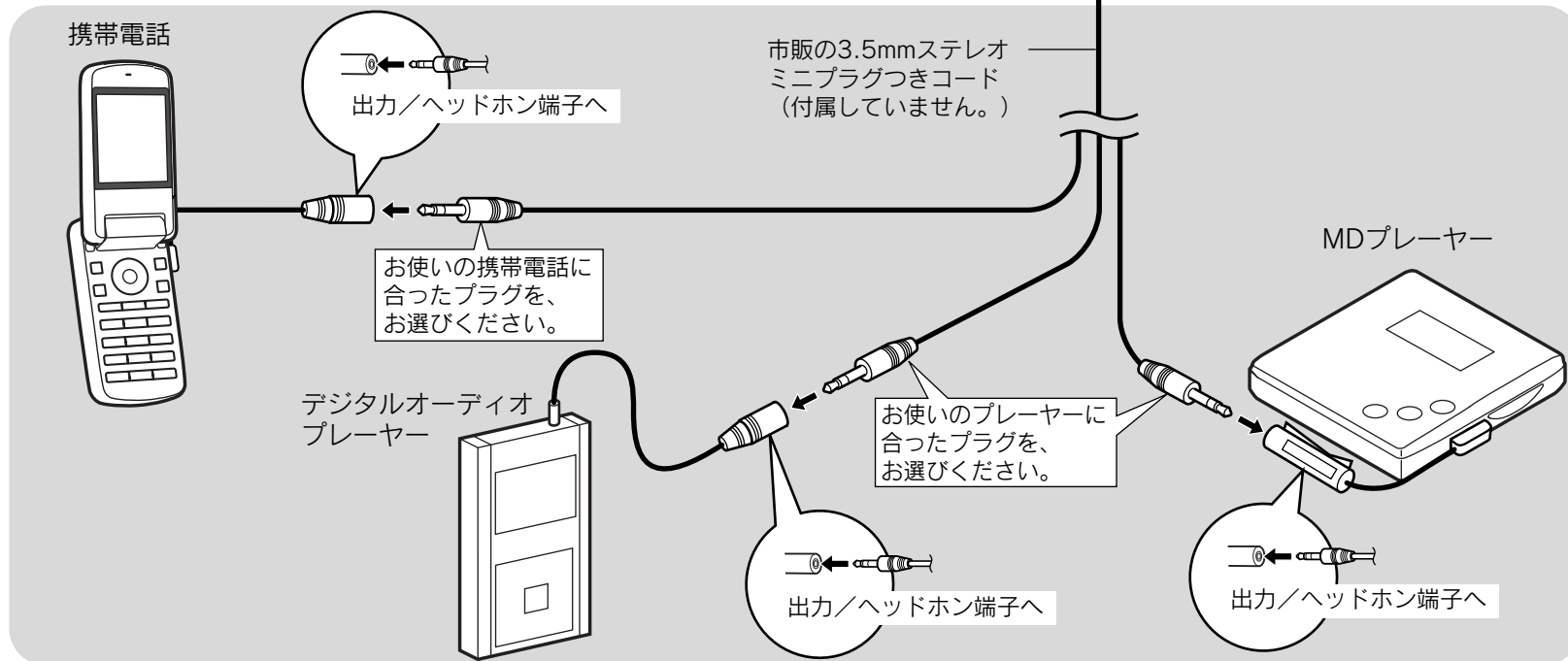
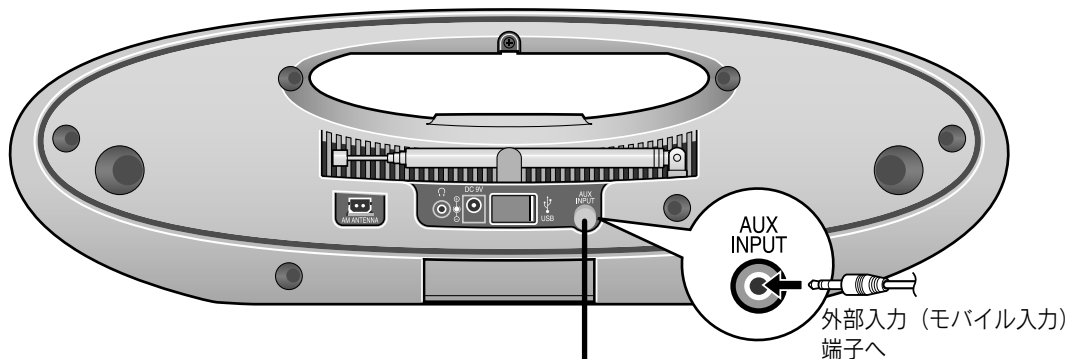
音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（☞ P.51）

携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーなどを接続する

QT-MPA5
QT-MPA10

本機と携帯電話やデジタルオーディオプレーヤー、MDプレーヤーなどを接続して、本機で直接聞いたり録音することができます。

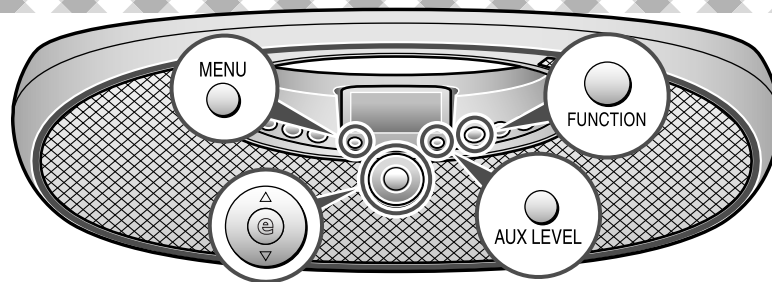
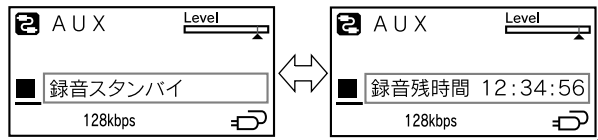
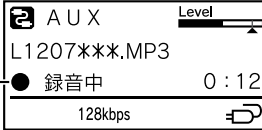
接続する前に

- 各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。
- 接続コードは、抵抗の入っていないものを使ってください。抵抗の入っているコードを使うと、音が小さくなります。

携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーなどを聞いたり録音する

QT-MPA5
QT-MPA10

準備： 電源を入れる。

録音する前に

録音残り時間を確認できます。

聞くには

1 FUNCTION **AUX（外部入力）モードにする。**

AUX Level

2 AUX LEVEL **入力レベルを切り換える。**

押すたびに切り換わります。

AUX Level
Low Gain 0
録音スタンバイ
128kbps

Low Gain：通常のオーディオ機器の場合
⇕
High Gain：出力レベルの低い機器の場合
（携帯電話など）

3 接続した機器を再生する。

4 **入力レベルを調整する。**

「-4」～「+4」の範囲でレベルメーターが「▲」マークの位置をこえないように △ ▽ を押して調整します。

音量を調整する ⇨ **押す。**

録音するには

5 録音モードを切り換える。（☞ P.36）

6 **押して、録音を開始する。**

「●」が点灯し、録音が始まります。

AUX Level
L1207＊＊＊.MP3
● 録音中 0：12
128kbps

録音を停止する ⇨ 録音中に ⓔ **押す。**

録音中は MENU AUX LEVEL FUNCTION の切り換えや、入力レベルの調整はできません。
操作するときは、一度録音を停止してください。

ファイル名は自動的につきます。

例えば、3月15日に録音したときは、右のようにファイル名がつき、「REC」フォルダに保存されます。

L0315＊＊＊.MP3
- アルファベットか数字
- 録音した日付
- 「L」：外部入力端子から録音したとき

録音した音楽ファイルを聞くには

「REC」フォルダの中から聞きたいファイル名を選びます。
（フォルダから再生する：☞ P.27）

録音内容保存のお願い

録音したファイルなど重要なデータは、パソコンに必ずバックアップしてください。（☞ P.46）

音声の入力と同時に録音を開始したいとき

準備：
1. 入力レベルを調整する。（☞ P.35 手順 1～4）
2. 録音モードを切り換える。（☞ 右の手順）
3. 接続した機器を停止させる。

1 MENU **録音メニューにする。**

2 **「シンクロ録音」を選ぶ。**

決定する。

3 **「オン」を選ぶ。**

決定する。

シンクロ録音モードになります。
（設定は変更するまで変わりません。）

4 **押す。**

「シンクロ待機中」になります。

5 **接続した機器を再生する。**

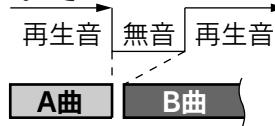
再生音が入力されると、録音が自動的に始まります。

録音を停止する ⇨ 録音中に ⓔ **押す。** ⇨ 「シンクロ停止中」

シンクロ録音を解除するには

ⓔを押し「シンクロ停止中」にしたあと、上記手順の1～3で「オフ」に設定します。

シンクロ録音について

再生音に1秒以上の無音があると、録音は一時停止します。
再び再生音が入力されると、次の曲として録音が始まります。

お知らせ

再生する曲によっては、1曲ごとに1つのファイルとして保存されないことがあります。

録音モードを変更する

より良い音質で録音したいときは、録音モードの数値を大きくします。数値を小さくするとファイルの容量が小さくなり、長い時間録音することができます。

1 MENU **録音メニューにする。**

2 **「録音モード」を選ぶ。**

決定する。

3 **録音モードを選ぶ。**

決定する。

		音質	容量
192kbps	：	向上	大きい
128kbps	：	標準	標準
64kbps	：	低下	小さい

設定は変更するまで変わりません。

お知らせ

ラジオ放送から録音するときと外部入力から録音するときの録音モードの設定は、別々にできます。

各設定の操作は ⇨ 30秒以内に操作してください。

前の手順に戻る ⇨ MENU **押す。**

操作をやめる ⇨ MENU **長押し。**（約2秒）

タイマー予約の概要

6つのタイマー

6つのタイマーを設定することができます。

タイマーでどんなことができるの？

6つのタイマーを使って、設定した時刻にラジオ放送やMP3、WMA、WAVの曲を聞くことができます。また、ラジオ放送をタイマー録音することもできます。
タイマーの種類には、1回だけ動作する**ワンスタイマー**と毎週動作する**ウィークリータイマー**が選べます。

ワンスタイマーを使うと…

一度の設定で1回だけタイマーが動作します。
（終了後、タイマーの設定は解除されます。）

タイマー録音に便利

ウィークリータイマーを使うと…

一度の設定で毎週同じ曜日の同じ時刻にタイマーが動作します。
（設定を解除するまで、毎週くり返します。）

毎朝の目覚ましに便利
（例：月～金曜日）

タイマー予約を使う（ワンスタイマー、ウィークリータイマー）

タイマー予約を使用するときは、ACアダプターでお使いください。（乾電池では動作しません）

準備： 1. 電源を入れる。
2. 時計が合っているか確かめる。（☞P.16）
3. タイマー予約でラジオ放送を聞いたり録音する場合は、あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞P.31、32）

ラジオ放送をタイマー録音するとき：

タイマーを登録する

各設定の操作は ⇨ 30秒以内に操作してください。

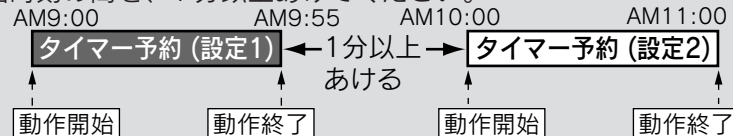
前の手順に戻る ⇨ MENU **押す。**

操作をやめる ⇨ MENU **長押し。**（約2秒）

6つのタイマーが予約できます。

同じ日に複数のタイマーを設定するときは、タイマー予約時刻が重ならないように、また各タイマー予約の動作終了時刻と動作開始時刻の間を、1分以上あけてください。

AM9:00 タイマー予約（設定1） AM9:55 ←1分以上あける→ AM10:00 タイマー予約（設定2） AM11:00

動作開始　動作終了　動作開始　動作終了

「ワンス」を選んだときは、手順７の表示はでません。手順８へ進んでください。

7
ウィークリータイマーのときは、曜日を設定して、決定する。
複数選べます。

8
開始時刻と終了時刻を合わせて、最後に決定する。

ラジオ放送をタイマー録音・再生

「録音」を選んだときは、手順９の表示はでません。手順10へ進んでください。

放送局が登録されていないとタイマー予約できません。

9
「チューナー」を選んで、決定する。

タイマー設定
✓ チューナー
曲

10
プリセット番号を選んで、決定する。

保存されている曲をタイマー再生

「曲」を選んで、決定する。

タイマー設定
✓ チューナー
曲

好みの曲を選んで、決定する。

タイマー録音には使えません。

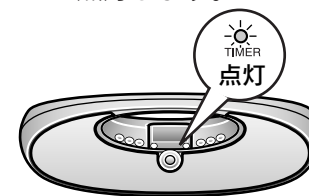
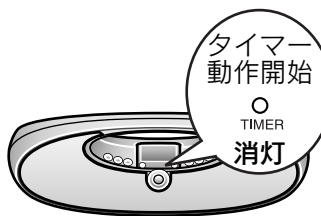
曲がないとタイマー予約できません。

11
音量を選んで、決定する。

タイマー設定
音量 20

「タイマー予約リスト」が表示されます。

手順3～11をくり返すと、6つまでタイマー予約することができます。

タイマー表示ランプが点灯します。

タイマー予約を使う（続き）

タイマー開始時刻になると自動的に電源が入り、再生や録音が始まります。

⇩

タイマー動作を中止するときは、

ON/STAND-BY を押して電源を切ってください。

お知らせ

- タイマー動作中にいずれかのボタンを操作すると、タイマー動作は解除されます。
- タイマー開始時刻に電源が入っていると、タイマー再生やタイマー録音は始まりません。
- FMラジオ放送でタイマー予約をしたときは、「ステレオ」モードで動作します。

タイマー動作について

- 6つのタイマーで ☑マークのついているものは、すべて動作します。
- 動作する順番はリストの上下ではなく、タイマー開始時刻の早いものから始まります。
- タイマー予約した後は、指定した曲や放送局を削除できません。
- タイマー予約した後に、時計の時刻を変更すると、タイマー設定が「オフ」になります。
  そのときは、「オン」に設定しなおしてください。

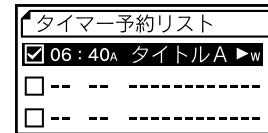
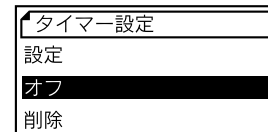
タイマー予約を変更、解除、再設定、削除するには

準備： 電源を入れる。

1 **「タイマー予約リスト」から、設定を変更したいタイマーを選ぶ。**
（☞P.38　手順 1 ～ 3）

2

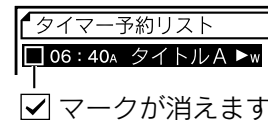
「設定」、「オフ」、「オン」または「削除」を選ぶ。

タイマー設定
設定
オフ
削除

変更したいとき

① 「設定」を選んだあと、ⓔ（決定）を押す。
② タイマー予約を設定し直してください。（☞P.38～39）

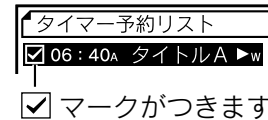
解除したいとき

① 「オフ」を選んだあと、ⓔ（決定）を押す。

タイマー予約リスト
□06：40A タイトルA ▶W

☑ マークが消えます。

同じタイマー予約を、再設定したいとき

① 「オン」を選んだあと、ⓔ（決定）を押す。

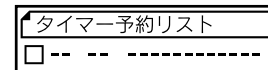
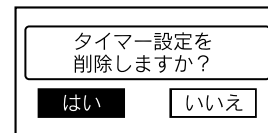
タイマー予約リスト
☑06：40A タイトルA ▶W

☑ マークがつきます。

タイマー予約の内容を、削除したいとき

① 「削除」を選んだあと、ⓔ（決定）を押す。
② 「はい」を選んだあと、ⓔ（決定）を押す。

タイマー設定を
削除しますか？
はい　いいえ

⇩

タイマー予約リスト
□-- -- ------------

おやすみタイマーを使う（スリープ）

QT-MPA5
QT-MPA10

おやすみタイマーを使うと

MP3やWMA、WAVの曲やラジオ放送を聞いているときに…
設定した時間が過ぎると電源が切れます。

1

曲やラジオを聞いているときに…
長押し（約2秒）**して、システムメニューにする。**
曲を再生しているときは、再生が停止します。

システムメニュー
リスト更新

2

「スリープ設定」を選ぶ。

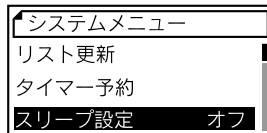
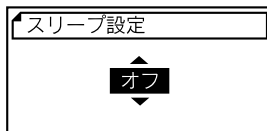
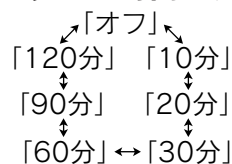
決定する。

システムメニュー	
リスト更新	
タイマー予約	
スリープ設定	オフ

3

スリープ時間を選ぶ。

「オフ」
「120分」「10分」
「90分」「20分」
「60分」↔「30分」

スリープ設定
オフ

決定する。

スリープ動作が始まります。
曲を聞くときは、ⓔを押して再生を始めてください。

スリープが設定されると「◷」が点灯します。

設定した時間が過ぎると電源が切れます。

終了時間の1分前になると、音量が徐々に小さくなります。
（この間は、音量を調整することはできません。）

スリープの残り時間を確かめるには

スリープ動作中に、左の操作1〜2を行います。

- 約30秒後にもとの表示に戻ります。
- スリープ残り時間が表示されているときに、○を押して、時間を選びⓔを押すと、時間を変更することができます。（☞ **左の手順3**）
- 曲を再生しているときは、再生が停止しますので、ⓔを押して再生を始めてください。

スリープ設定を解除するには

電源を切ると、スリープ設定は解除されます。
電源を切らないで解除したいときは、左の手順3で「オフ」を選び、決定する。

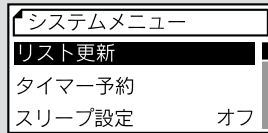
スリープとタイマー予約を組み合わせて使うと（☞P.38）

スリープ設定した時間が過ぎると電源が切れ、タイマー開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマーが始まります。

- スリープ中にタイマー開始時刻がきても、タイマーは動作しません。

いろいろなシステム設定

いろいろなシステムメニューで、お買いあげ時の設定をお好みの設定に変更することができます。
「システムメニュー」は、どのモードからでも切り換わります。

システムメニュー

MENU
長押し（約 2 秒）

システムメニュー
リスト更新
タイマー予約
スリープ設定　オフ

(　)内のページは、別の章で説明しています。

各設定の操作は ⇨ 30 秒以内に操作してください。

前の手順に戻る ⇨ MENU **押す。**

操作をやめる ⇨ MENU **長押し。**（約 2 秒）

お知らせ

曲を再生中にシステムメニューに切り換えると、再生が停止します。

表示部の点灯時間を変更することができます。

準備： 電源を入れる。

バックライト時間

1 MENU **長押し**（約 2 秒）**して、システムメニューにする。**

2 **「バックライト時間」を選ぶ。**

決定する。

3 **お好みの設定にする。**

オフ　：常に消灯
5 秒　：操作後、5 秒たつと消灯
10 秒　：操作後、10 秒たつと消灯
20 秒　：操作後、20 秒たつと消灯
30 秒　：操作後、30 秒たつと消灯
常にオン：常に点灯

決定する。
メニューボタンを押す前の画面に戻ります。

お買いあげ時の設定：5 秒

お知らせ

デモモード（☞P.45）が「オン」になっていると、バックライトは常に点灯します。

表示部の濃さを調整することができます。

準備： 電源を入れる。

お買いあげ時の設定：5

表示する言語を変更することができます。

準備： 電源を入れる。

お買いあげ時の設定：日本語

いろいろなシステム設定（続き）

すべての設定をお買いあげ時の設定に戻すことができます。

準備： 電源を入れる。

お知らせ

正しく表示しなくなったり操作を受け付けなくなったときは、「リセット操作」（☞P.50）をしてみてください。それでも正しく動作しない場合は、「出荷時設定」をしてみてください。

ご注意

この操作をすると、登録した設定内容はすべて消えます。
録音された曲は削除されません。

本機に録音された曲や、パソコンから保存したデータ（☞P.46）を一度に削除することができます。

準備： 電源を入れる。

お知らせ

- **本機で曲を消すと、もとには戻せません。消してもよいか、よく確かめてから操作してください。**
- 購入した音楽ファイルを削除するときは、Windows Media® Player を使ってください。
  くわしい操作方法は、Windows Media® Playerのヘルプなどをごらんください。

デモモードの設定や解除をすることができます。

準備： 電源を入れる。

デモモード

お買いあげ時の設定：オフ

デモモードを「オン」に設定すると…

- 本機を操作していない状態が１分以上続くと、「DEMO MODE」と表示されたあと、いろいろなメニュー画面が表示されます。ボタンを操作すると、もとの表示に戻ります。ただし、再生中や録音中は、デモモードになりません。
- バックライトは常に点灯します。

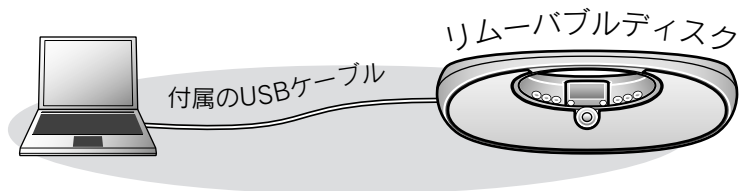
メモリーの空き容量や総曲数などの確認をすることができます。

準備： 電源を入れる。

システム情報

パソコンのデータを保存する

ストレージ機能

本機をリムーバブルディスクとして使用することができ、パソコンのデータを本機に保存することもできます。

① **パソコンと本機を付属のUSBケーブルでつなぎます。**(P.21)

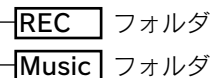
② **パソコン側で操作して、「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク」を選んで、データを保存します。**

ご注意

- 音楽ファイルをこの方法で直接コピーした場合は、本機で再生できない場合があります。
  音楽ファイルは、Windows Media® Player を使って転送してください。
- 音楽ファイル以外のファイルを本機に保存した場合は、本機の表示部でそのファイル名を確認することができません。また、保存したファイルの容量だけ、本機で録音できる時間が短くなります。
- パソコンから本機を初期化しないでください。
  本機に必要な管理ファイルが消えると、正しく動作しなくなります。パソコンから転送したファイルをまとめて消すときは、システムメニューの「全ファイル削除」で操作してください。
  (P.44)

録音内容保存のお願い

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたとき、また、故障・修理のときは、お客様が録音された内容が変化・消失する場合があります。
録音したファイルなど重要なデータは、パソコンに必ずバックアップしてください。

リムーバブルディスク
- REC フォルダ
- Music フォルダ

この製品で録音したラジオ放送や外部機器（AUX）の音楽ファイルを、パソコンに保存するには、「REC」フォルダ内からパソコン側にバックアップしてください。

Q&A 集

よくあるご質問

	質　問	回　答
録音	録音中に音量を変えたらどうなりますか？	スピーカーから聞こえる音量は、録音される音には影響しません。
	音楽 CD から録音した曲に、曲名などはつきますか？	Windows Media® Player を使用して、音楽CDからパソコンへ曲を録音するときに、インターネットに接続されていると、アルバム名、アーティスト名、曲名がインターネットから自動的に取得されます。 また、Windows Media® Player 10 の場合は、パソコンで入力することもできます。
	曲を本機で直接録音することはできますか？	ラジオ放送や外部入力端子に接続した機器の音声を録音できます。 （ P.33 ～ 36）

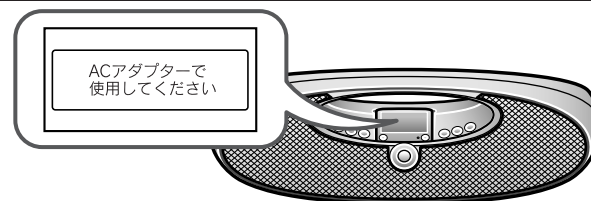
Q&A 集（続き）

質　問		回　答
録音	本機で録音した曲はパソコンにバックアップ（保存）できますか？	できます。 （録音内容保存のお願い：☞ P.46） ただし、著作権の対象となっている曲などを複製したり配付したりすると、著作権を侵害することとなりますのでご注意ください。
録音	最大録音時間はどの位ですか？ （録音モードの変更：☞ P.33、P.36）	録音モードの設定により異なりますが、目安としては以下のようになります。 **QT-MPA5：** 64kbps　約 17 時間 128kbps　約 8 時間 192kbps　約 6 時間 **QT-MPA10：** 64kbps　約 35 時間 128kbps　約 17 時間 192kbps　約 12 時間
録音	録音モードとは何ですか？ （ビットレート）	音声をデジタル信号に変換するときのデータ量（ビット数）で一般的にはビットレートで表します。 録音モード（ビットレート）の数値を大きくすると、音質は向上しますがファイルサイズが大きくなります。反対に小さくすると、ファイルサイズは小さくなりますが音質が低下します。
録音	利用可能な音楽配信サービスは？	WMA形式の音楽ファイルを配信している音楽配信サービスをご利用いただけます。 Windows Media® DRM9 に対応しています。 （くわしくは ☞ P.51）

質　問		回　答
聞く	再生する曲順は？	選曲しなかった場合は、ファイル名の順番に再生されます。（アルファベット順→50音順）
聞く	パソコンからコピーした音楽ファイルは聞けますか？	パソコンから本機に直接コピーした音楽ファイルは再生できない場合があります。 パソコンから本機に音楽ファイルを転送するときは、Windows Media® Player を使ってください。
聞く	テレビ音声は聞けるの？	地上アナログ１～３チャンネルのみです。 地上デジタル放送は聞けません。
聞く	再生できる曲数に制限はありますか？	再生可能な曲数には制限があります。 再生可能曲数　　　500 曲
タイマー	「ワンスタイマー」とは何ですか？	１回のみのタイマーです。 タイマー録音に便利です。（☞ P.38、39）
タイマー	「ウィークリータイマー」とは何ですか？	指定した曜日に働くタイマーです。 毎朝の目覚ましに便利です。 （☞ P.38、39）
タイマー	AC アダプターを抜くと、時計は止まりますか？	時計用の乾電池を入れておけば止まりません。 （☞ P.13）
一般	市販の USB ケーブルは使用できますか	おすすめできません。 付属の USB ケーブルを使用してください。
一般	「デモ表示」とは何ですか？ DEMO	本機を操作しない状態が 1 分以上続くと、いろいろなメニュー画面を表示します。 （☞ P.45）

こんな表示が出たときは

表　示	内　容
電源異常	本体用乾電池を取り換えてください。
電池を交換してください	本体用乾電池の残量がありません。 新しい乾電池に交換してください。
ファイルがありません	音楽ファイルを本機に転送や録音してから操作してください。
設定を読み込めませんでした	リセット操作（☞ P.50）または出荷時設定（☞ P.44）をしてください。 それでも正しく動作しないときは、お買いあげの販売店に修理をお申し付けください。
設定を保存できません	
リスト更新をしてください	正しいリスト表示になっていません。 リスト更新の操作（☞ P.28）をしてください。
リスト更新を中断しました	不要な曲を削除してメモリーの空き容量を増やしたあと、操作してください。
削除できません	パソコンで削除してください。
プロテクトされています	パソコンでファイルのプロテクトを解除してください。
編集できません	音楽ファイル以外ではプレイリストの編集はできません。 音楽ファイルを選択してください。
登録されていません	プレイリストを作ってから操作してください。 （☞ P.26）
メモリーがいっぱいです	不要な曲を削除してメモリーの空き容量を増やしたあと、操作してください。 リセット操作（☞ P.50）または出荷時設定（☞ P.44）をしてください。
録音できません	

表　示	内　容
プリセットされていません	放送局を登録してください。 （☞ P.31、32）
受信できる局がありませんでした	ラジオ放送を受信できる場所で操作してください。
これ以上登録できません	手動で放送局を登録し直してください。 （☞ P.32）
タイマー設定曲のため削除できません	タイマー予約で設定した「曲」は削除できません。 タイマー予約の設定を削除してください。
タイマー設定chのため削除できません	タイマー予約で設定した「プリセット番号」は削除できません。 タイマー予約の設定を削除してください。
タイマーの時間が重なっています	時間の重なっているタイマー予約の設定を「オフ」にしてください。（☞ P.40）
タイマーが設定されていません	タイマー予約を設定してください。
タイマー設定できません	音楽ファイルを本機に転送や録音してから操作してください。
ACアダプターで使用してください	AC アダプターを接続してください。 ACアダプターを接続していないと、タイマー予約の設定をしていても動作しません。

「故障かな？」と思ったときは

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、53ページの**「保証とアフターサービス」**をごらんのうえ修理を依頼してください。

共通

スピーカーから音が出ない。
→音量が“0”になっていませんか？（☞ P.25）
→ヘッドホンをつないでいませんか？（☞ P.12）

再生中に雑音が出る。
→テレビ・パソコン・携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。

ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった。
→リセット操作（☞ P.50）または出荷時設定（☞ P.44）をしてください。
それでも正しく動作しないときは、お買いあげの販売店に修理をお申し付けください。

テレビの映像に乱れや雑音が生じる。
→室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていると、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。

タイマー再生やタイマー録音が動作しない。
→タイマー開始時刻が重なっていませんか？
時間の重なっているタイマー予約の設定を「オフ」にする。
→ACアダプターがはずれていませんか？
タイマー動作はACアダプターが接続されていないと動作しません。
→電源は入ったままになっていませんか？
タイマー開始時刻に電源が入っていると、タイマー動作は始まりません。
→リセット操作または出荷時設定をしませんでしたか？
そのときは、タイマーの設定をやり直してください。
（☞ P.38、39）
→タイマー設定したあと、タイマー表示ランプは点灯していますか？
消灯しているとタイマーは動作しません。（☞ P.39）

表示部が暗い。
→「コントラスト」設定を変更する。（☞ P.43）

共通

電源が入らない。
→ACアダプターは接続されていますか？
または、本体用乾電池は入っていますか？（☞ P.14）

時刻が表示されない。
→ACアダプターは接続されていますか？（☞ P.14）

プレーヤー

パソコンから本機に音楽ファイルを転送できない。
→USBケーブルが確実に接続されていますか？（☞ P.21）
→本機のメモリーの空き容量が不足していませんか？

再生できない。
→MP3やWMA、WAV以外のファイル形式ではありませんか？
→パソコンから直接コピーしたファイルではありませんか？
→著作権制限のされた曲である可能性があります。
（例：再生ボタンを押したが、すぐに停止状態になる。）

音楽ファイルの曲名、アルバム名、アーティスト名が途切れて表示される。
→本機で表示できる文字数は半角文字で曲名99文字、アルバム名49文字、アーティスト名99文字です。

ラジオ

録音できない。
→本機のメモリーの空き容量が不足していませんか？

放送に“シー”、“ザー”などの雑音が入る。
→テレビやコンピューター、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してください。
→アンテナの方向が悪くありませんか？（☞ P.12）

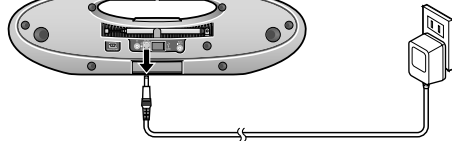
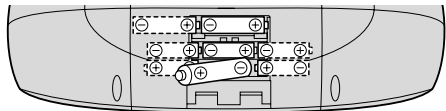
放送がよく受信できない。雑音が多い。
→アンテナ線の近くにACアダプターがある場合は離してください。

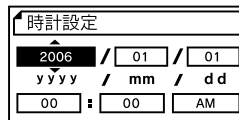
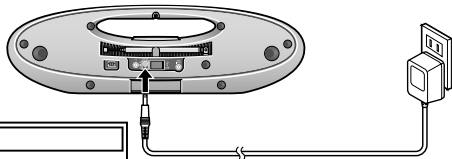
登録した放送局を呼び出すことができない。
→リセット操作または出荷時設定をしませんでしたか？
そのときは、登録し直してください。（☞ P.31、32）

異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のように**「リセット操作」**をしてください。

リセット操作

1 **ACアダプターのプラグを本体から抜く。**

2 **本体用と時計用の乾電池をすべてはずす。**

3 **を長押し**（約2秒）**する。**

4 **1分以上たったあと、ACアダプターのプラグを本体につなぎ、電源を入れる。**

時計を合わせ直してください。
（☞ P.16）

リセット操作をしても正しく動作しないときは、「出荷時設定」の操作をしてみてください。（☞ P.44）

お手入れについて

QT-MPA5
QT-MPA10

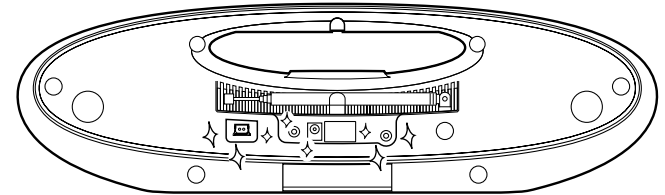
本体表面

本体の表面はやわらかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

- **ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。**
  また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。
  表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。
- 油をささないでください。故障の原因となります。

接続端子やプラグ

接続端子やプラグが汚れていると接触不良の原因となります。
定期的に綿棒でから拭きしてください。
（水やアルコールは絶対に使わないでください。）

音楽著作権について

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などをすることは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者から許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなります。
上記のような利用方法は、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

音楽配信サイトの曲について

音楽配信サイトから音楽ファイルを購入される際は、以下のことに注意してください。

- WMA形式の音楽ファイルを配信しているサイトをご利用ください。WMA形式以外で配信されている音楽ファイルは、本機では再生できません。
また、WMA形式以外で配信されている音楽ファイルを、WMA形式に変換することもできません。
- 音楽配信サイトによっては、音楽ファイルの不正な配布による著作権侵害を防ぐため、音楽ファイル自体に記録や再生方法、転送の回数に制限が付加されたものがあります。
- 購入した音楽ファイルは、必ずパソコンにバックアップを取っておいてください。
- 購入した音楽ファイルを削除するときは、Windows Media® Player を使ってください。
くわしい操作方法は、Windows Media® Player のヘルプなどをごらんください。

デジタル著作権管理（DRM）について

デジタル著作権管理（DRM）とは、所有者の権利を保護しながら、デジタルコンテンツを容易かつ安全に取得することを目的にしたデジタル技術です。

この製品では、Windows Media® Player 10 または9を使って転送することにより、Windows Media® DRM 9方式を使用し、音楽配信ファイルを再生することができます。
また、Windows Media® DRM 10方式には対応していませんので、その場合は、音楽配信ファイルの提供先に確認してください。

仕様

QT-MPA5
QT-MPA10

メモリープレーヤー部	
記憶容量	QT-MPA5： 512MB (ユーザー領域：約480MB) QT-MPA10： 1GB (ユーザー領域：約990MB)
再生フォーマット	WMA(32kbps - 192kbps) DRM、VBR対応 MP3(16kbps - 320kbps) VBR対応 WAV(リニアPCM 8/16ビット　22.05kHz-48kHz)
収録可能曲数	QT-MPA5：約125曲 QT-MPA10：約250曲 （WMA (128kbps) 1曲あたり4分とした場合）
録音フォーマット	MP3： ビットレート：64kbps、128kbps、192kbps
周波数特性	20～20,000 Hz (+1/-3dB) (JEITA) ※

チューナー部	
受信周波数	FM：76.0～108.0 MHz AM：522～1,629 kHz
回路方式	クオーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダインFM/AMチューナー
アンテナ	FM：ロッドアンテナ AM：専用ループアンテナ（付属）

タイマー・時計部	
形式	日付機能付きデジタルクロック
タイマー	ウィークリータイマー/ワンスタイマー/スリープタイマー

共通部	
アンプ方式	アナログ方式
実用最大出力	2 W＋2 W（付属AC アダプター使用時、JEITA）※
スピーカー	8 cm フルレンジスピーカー× 2
出力端子	ヘッドホン出力： 16 ～ 50 Ω（推奨 32 Ω） 直径 3.5 mm ステレオミニジャック× 1
入力端子	アナログ外部入力： 500 mV (Low Gain)/150 mV (High Gain) 直径 3.5 mm ステレオミニジャック× 1
USB 端子	USB2.0/1.1 × 1 (Type B 端子)
アンテナ端子	AM 専用ソケット
その他の端子	付属 AC アダプター用ソケット（DC 9 V）× 1
電源	AC 100 V、50/60 Hz（付属ACアダプター使用時) DC 9 V（市販高容量単３形アルカリ乾電池× 6 本) 時計バックアップ用 DC 3V (付属単3形マンガン乾電池×2本)
消費電力	AC 9 W（待機時消費電力： 0.9 W）
最大外形寸法	410（幅）× 122（高さ）× 177（奥行）mm (JEITA）※
質量	約 2.1kg（乾電池含まず）約 2.3kg（乾電池含む）
電池持続時間	再生時（メモリー再生）：約 9.0 時間 録音時 (FM ステレオ→メモリー）：約 7.0 時間 (各持続時間は市販高容量単 3 形アルカリ乾電池を使用し、バックライト OFF、JEITA ※基準で測定)

※ JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

保証とアフターサービス

よくお読みください

QT-MPA5
QT-MPA10

保証書（裏表紙）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
  お買いあげの日から１年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、メモリーオーディオシステムの補修用性能部品を、製品の製造打切後、８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（54ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

「故障かな？」と思ったときは（49ページ）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ずACアダプターをコンセントから抜き、乾電池をはずしてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ　お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電　話（　　　　　）　　－

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような症状はありませんか？
- ● ACアダプターやプラグが異常に熱い
- ● コゲくさい臭いがする
- ● ACアダプターに深いキズや変形がある
- ● その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

QT-MPA5
QT-MPA10

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・ **修理相談センター** へ
● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・ **お客様相談センター** へ

お客様相談センター

■ 受付時間： ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0120-078-178

○ フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…

東日本相談室	TEL **043-351-1821**	FAX **043-299-8280**
	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL **06-6792-1582**	FAX **06-6792-5993**
	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

● FAX送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。
● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄･奄美地区を除く）
■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0570-02-4649
当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
（注）PHS・IP電話からは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ PHS／IP電話でのご利用は・・・・・・・	（一般電話）	043-299-3863	06-6792-5511
○ ＦＡＸを送信される場合は・・・・・・・	（Ｆ Ａ Ｘ）	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄･奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。
■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄･奄美地区〕は・・・・＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄･奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

シャープ商品の修理・お取り扱い・お手入れのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へお申し出ください。
※なお、転居されたり贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、以下のサービスをご利用ください。

不具合品の訪問引き取り・修理・お届けサービス《修理品引き取りサービス》のご案内

修理品引き取りサービスとはお持込いただける商品を、電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用料金

■運送費

保証期間内	無料
保証期間外	有料

■修理料金

保証期間内	無料 (保証書記載の「保証規定」に準じます)
保証期間外	有料 (修理内容により異なります)

※保証期間内でも有料となる場合があります。
詳しくは、保証書をご確認ください。

お申し込み

「修理相談センター」にお電話でお申し込みください。

0570-02-4649

・受付時間　月曜～土曜：午前9時～午後6時
　　　　　　日曜／祝日：午前10時～午後5時
　年末年始及び天災などやむをえない状況の際は臨時に休ませていただくことがありますので予めご了承ください。
・ナビダイヤルは、全国一律料金でご利用いただけます。
・PHS／IP電話からは下記の一般電話におかけください。
・ファクシミリを送信される方は、下記 FAX受信専用番号にお願いします。

	東日本エリア	西日本エリア
一般電話	043-299-3863	06-6792-5511
専用ＦＡＸ	043-299-3865	06-6792-3221

電話番号をお確かめの上、お間違えのないようにおかけください。

お引き取り

当社指定の宅配業者（ヤマト運輸）がお引取りに伺います。

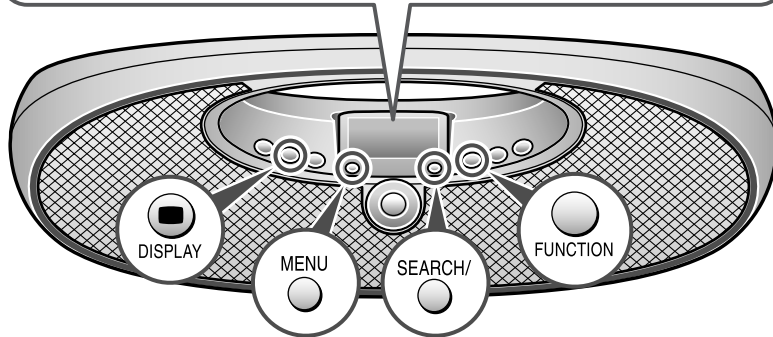
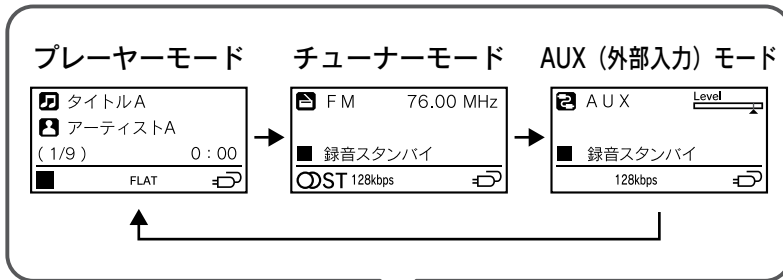
・お引取り時間は下記時間帯よりお選び頂くことができます。
　ＡＭ/12時～14時/14時～16時/16時～18時/18時～21時
・お引取り日はご依頼日の翌日以降となります。
・交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。
※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし梱包させて頂きます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。

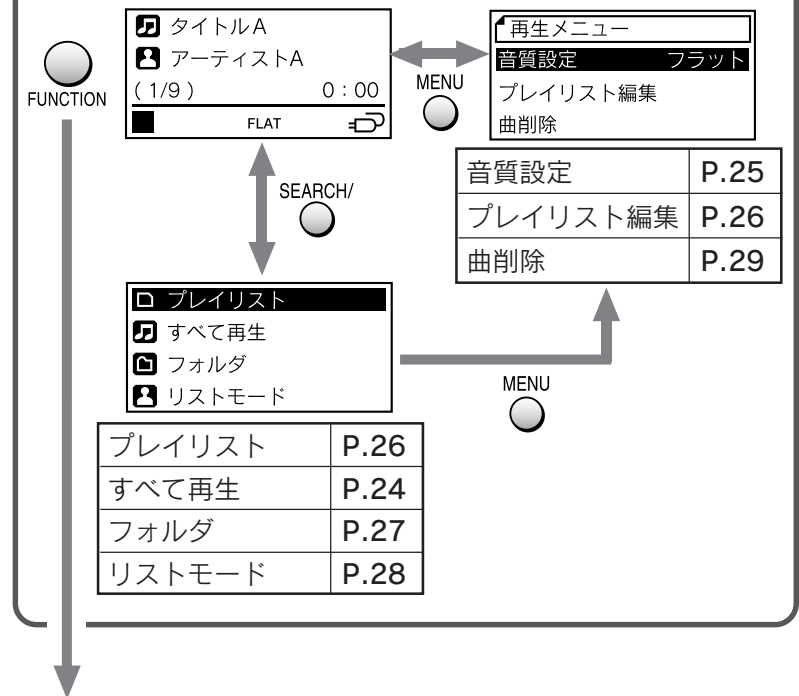
・ご連絡時にサービス料金（修理料金＋利用料）と発送日をご連絡いたします。
・ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
・サービス料金（修理料金＋利用料）をヤマト運輸に現金でお支払いください。
※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問日が変動します。

メニュー一覧

FUNCTION（ファンクション）、MENU（メニュー）、SEARCH（サーチ）、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンで、いろいろなモードに切り換わります。
（くわしくは、それぞれのページをごらんください。）

プレーヤーモード

（MP3 や WMA、WAV 音楽ファイルを再生する：☞ P.24）

音質設定	P.25
プレイリスト編集	P.26
曲削除	P.29

プレイリスト	P.26
すべて再生	P.24
フォルダ	P.27
リストモード	P.28

（次のページへ続く）

（前のページより）

チューナーモード

（ラジオ放送を聞く、録音する： P.30、33）

FM 76.00 MHz
■ 録音スタンバイ
ST 128kbps

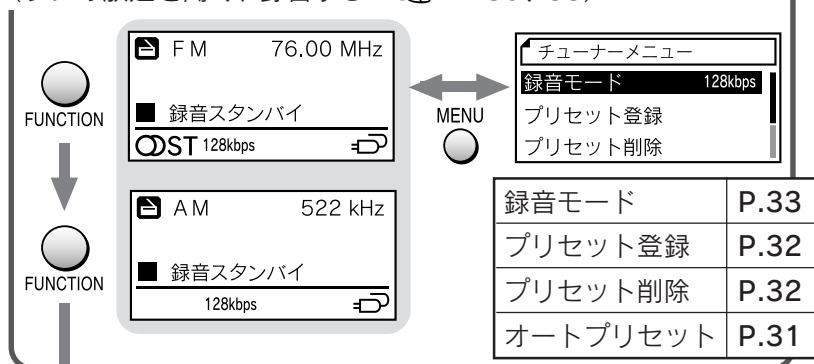
FUNCTION

AM 522 kHz
■ 録音スタンバイ
128kbps

FUNCTION

MENU

チューナーメニュー
録音モード 128kbps
プリセット登録
プリセット削除

録音モード	P.33
プリセット登録	P.32
プリセット削除	P.32
オートプリセット	P.31

AUX（外部入力）モード

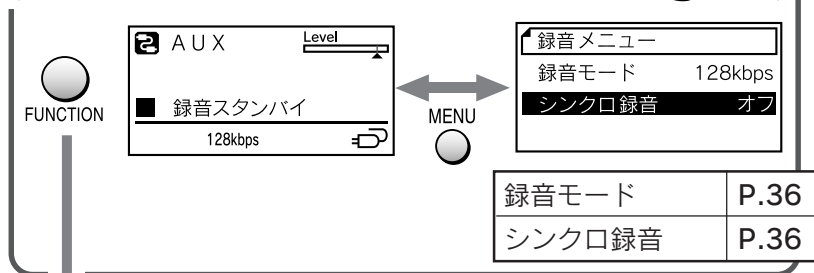
（携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーから録音する： P.35）

AUX Level
■ 録音スタンバイ
128kbps

FUNCTION

MENU

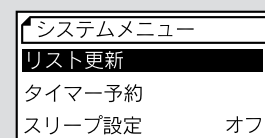
録音メニュー
録音モード 128kbps
シンクロ録音 オフ

録音モード	P.36
シンクロ録音	P.36

（プレーヤーモードに戻る）

システムメニュー

（いろいろなシステム設定をする： P.42）

MENU
長押し
（約 2 秒）

システムメニュー
リスト更新
タイマー予約
スリープ設定 オフ

リスト更新	P.28
タイマー予約	P.38
スリープ設定	P.41
バックライト時間	P.42
コントラスト	P.43
時計設定	P.16
言語選択	P.43
出荷時設定	P.44
全ファイル削除	P.44
デモモード	P.45
システム情報	P.45

時計表示

（時刻を表示させるには： P.17）

長押し
（約 2 秒）

さくいん

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ら行

英数字

DRM
デジタル化された音楽ファイルなどの著作物に、コピーや再生の制限を加え著作権を保護する技術です。

MP3
音声圧縮方式の一つで、一般的に多く使用されています。

WAV
Windows® 標準の音声ファイル形式です。データ量は大きくなります。

Windows Media® Player
Microsoft®社のマルチメディア用再生ソフトウェアです。
動画や音声の再生に使うジュークボックス機能や、音楽 CD 作成機能、CD からの音楽取り込み機能などを装備しています。

WMA
Microsoft® 社の音声圧縮方式です。
音楽配信サイトで広く使用されています。

〈無 料 修 理 規 定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげの販売店が無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   （イ）本書のご提示がない場合。
   （ロ）本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   （ニ）お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   （ホ）火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
   （ヘ）一般家庭用以外（例えば業務用）に使用された場合の故障・損傷。
   （ト）消耗部品（乾電池）が損耗し取り替えを要する場合。
   （チ）電池の液漏れによる故障・損傷。
   （リ）持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様負担となります。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

★ 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は		
0120-078-178	**東日本相談室**	TEL **043-351-1821**	FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6792-1582**	FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前９時～午後６時　　日曜・祝日：午前１０時～午後５時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は‥　54 ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522
大阪市阿倍野区長池町２２番２２号

AVシステム事業本部　〒329-2193
栃木県矢板市早川町１７４番地

Printed in China
TINSJA025SJZZ
06C N YT ⑤